

北広島市教育基本計画(2011-2020)

推進計画 《平成26～28年度》



平成26年3月

北広島市教育委員会

北広島市教育基本計画(2011-2020)

推進計画《平成 26～28 年度》 目次

教育推進計画について

1	教育推進計画の目的と位置づけ	1
2	施策の体系	1
3	計画の期間	1

政策及び施策の推進について

1	先人たちが伝える精神と教育基本計画に 定めた視点の反映	4
2	計画の進行管理（点検評価及び見直し）	4
3	次期教育推進計画	4

8つの政策と23の施策を進める個別事業

	政策 1 やさしく支えあう教育連携の推進	...1～	7
	政策 2 「生きる力」を育む学校教育の推進	...1～	18
	政策 3 信頼され、魅力ある学校づくりの推進	...1～	16
	政策 4 学びあい、教えあう社会教育の推進	...1～	8
	政策 5 郷土愛を育む教育活動の推進	...1～	4
	政策 6 生涯にわたる読書活動の推進	...1～	3
	政策 7 芸術文化活動の振興	...1～	4
	政策 8 健康づくりとスポーツ活動の推進	...1～	8
	政策 1～8を支える経常経費	...1～	6

施策の方向性について

	施策 1～23	...1～	23
--	---------	-------	----

Ⅲ 8つの政策と23の施策を進める個別事業

教育基本計画及び教育推進計画の政策・施策体系に沿い、各施策の個別事業について、事業内容、推進計画、期待されるアクション、必要な視点、前年度の実績及び評価等を掲載します。

*** 教育推進計画に掲載する事業**

- ① 市の推進計画（第2章）に掲載された教育政策に係る事業
- ② 市の推進計画に掲載されていないが市教委として政策的に取り組む考えのある事業
- ③ 経常経費に係る事業（市の推進計画には掲載されない）

*** 拡大事業の掲載方法について**

市の推進計画では個別事業の継続分と拡大分を合わせて掲載していますが、教育推進計画では継続分と拡大分を別個に掲載します。

- ・市の推進計画：拡大分を含めた事業として掲載している（【拡大】と併記）
- ・教育推進計画：個別事業の継続分及び拡大分を別々に掲載している
（拡大分には【拡大】と表記）

凡例（個別事業の推進計画及び評価）

教育推進計画事業コード 3-11-001
政策通番-施策通番-事業番号

着色(黄) → 市の推進計画に掲載された事業
着色なし → 市の推進計画に掲載されていない事業

期待されるアクションと説明

必要とされる視点と説明
◎：不可欠な視点
○：必要な視点

アクション・視点に対する評価の参考とする指標

事業コード	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する	◎	○	平成25年度実績
2-07-003	児童・生徒が生活にわたる健康的な生活を送ることができるよう、学校給食、教科書の時間の中で、自分で健康を考える力を育むため、食に関する指導の充実を図る。	学校栄養教諭による食に関する指導の実施	学校栄養教諭による食に関する指導の実施 「食の課題と指導の手引き」改訂版の作成	学校栄養教諭による食に関する指導の実施	児童・生徒が健康的な生活を送るために食習慣や食に関する自己管理能力等を身につけることを目指す。					学校栄養教諭を中心とした食に関する指導を実施した。
評価指標 食に関する授業実施回数										
平成25年度の計画					平成25年度の計画					平成25年度実績
継続					継続					継続
事業費(千円)					56					56

事業名・市計画番号・担当課

事業内容・市計画判定・3年間の計画内容

・計画番号のある事業は市の推進計画掲載事業

前年度事業のアクション・視点に対する評価及び説明
(評価A：できている、評価B：ある程度できている、評価C：できていない)

・前年度事業の実績
・市計画判定
・決算見込額

■ 灰色帯：市の推進計画に掲載されていない事業 ■ 赤帯：経常経費に係る事業

政策1 やさしく支えあう教育連携の推進

施策1 家庭の教育力向上への支援内容の充実

施策2 教育相談体制の充実

施策3 地域が支える健全育成活動の充実

【施策1 家庭の教育力向上への支援内容の充実】

- 1 あたたかな家庭づくりへの支援の充実
- 2 地域を取り巻く社会環境の変化や氾濫する情報への対応など、家庭の教育力向上のための学習機会や市民・関係団体と連携し、家庭教育を支援する柔軟なネットワークを充実します。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成25年度の評価			平成25年度の評価					

1-01-001	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	創る	広げる	改善する					平成25年度実績
家庭教育支援事業	家庭の教育力向上のため、関係団体と連携し家庭教育支援に関する実践活動を推進するほか、学習の機会や交流の場を提供する。	家庭教育支援実践活動推進事業(きたひろしま生活シートの配布及び内容の調査)の実施 家庭教育交流会の開催	家庭教育支援実践活動推進事業(きたひろしま生活シートの配布及び内容の調査)の実施 家庭教育交流会の開催	家庭教育支援実践活動推進事業(きたひろしま生活シートの配布及び内容の調査)の実施 家庭教育交流会の開催	家庭での生活習慣を見直す取組みを実施し、取組みの結果をまとめ今後の支援内容を協議する。							市内の小学校4年生と中学校1年生を対象に「きたひろしま生活シート」の取組みを実施。 (回収率) 小学校77.0% 中学校79.5%
市計画<292>	継続	継続	継続	継続	評価指標 事業の取組みによる生活習慣の変化の割合			平成25年度の評価		A	A	継続
社会教育課	事業費(千円)	0	0	0	家庭での生活習慣を見直す機会を提供することができた。			生活シートの取組みの結果を集計、分析し、内容を公表する。調査結果から、今後の課題などを把握することができた。				0

1-01-001-1	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	創る	広げる	改善する					平成25年度実績
家庭教育支援事業 [拡大]	家庭での生活習慣の改善を目指し「生活シート」の取組みを行う。 取組みの結果をもとに、課題や今後の方策を検討する。 関係機関団体と共に家庭教育を支援する交流会を実施する。	子どもの生活習慣の改善を目的とした実践活動として、シンポジウム(助成事業申請)の開催。			家庭での生活習慣を見直す取組みを実施し、取組みの結果をまとめ今後の支援内容を協議する。							
市計画< >	拡大	拡大			評価指標 事業の取組みによる生活習慣の変化の割合			平成25年度の評価				
社会教育課	事業費(千円)	0						平成25年度の評価				

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画			期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
					懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
					平成25年度の評価			平成25年度の評価					
1-01-002	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績
北広島市PTA 連合会支援事 業	児童生徒の健全育成を進めるため、学校毎のPTAの情報交換を図るとともに、保護者を対象とした研修会等を実施するPTA連合会の活動を支援する。	PTA連合会への支援	PTA連合会への支援	PTA連合会への支援	連携支援による活発な活動の継続			学校、地域、家庭、行政が協働し青少年の健全育成を進める。					PTA連合会への補助金交付 第66回石狩管内PTA連絡協議会及び母親研修会北広島大会(11月9日、参加人数450名)
					評価指標 研修会参加人数								
					平成25年度の評価 A			平成25年度の評価 A					
市計画<255> 青少年課	継続 事業費(千円)	継続 325	継続 325	継続 325	連携支援を進め、活発な活動が展開された。			協働し青少年の健全育成を進めた。					継続 425

【施策2 教育相談体制の充実】

- いじめ・不登校の問題を早期に解消するため、訪問指導アドバイザー（臨床心理士）、訪問相談員（メンタルフレンド）、スクールカウンセラー（道費）など専門的知識を有する人材を積極的に活用します。
- 不登校児童生徒の学校復帰に向け、「みらい塾」において学習指導や社会体験活動を行い、集団生活や社会適応能力の向上を図ります。
- インターネット上での新しい形のいじめやトラブル、犯罪被害を防ぐため、携帯電話の取扱いや情報モラルについて、児童生徒・保護者に対して啓発を図ります。
- 青少年を取り巻く諸問題の把握と早期解決に向け、学校や中央児童相談所などと連携を強化していきます。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成25年度の評価			平成25年度の評価					

1-02-001	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する					平成25年度実績
不登校対策・ 教育相談事業	不登校児童生徒の学校復帰と社会的自立を支援するため、保護者や学校、関係機関と連携して、ひきこもりや不登校児童生徒の解消と未然防止を図る。児童生徒及びその保護者を対象に問題の早期解決を図るため、面談や家庭訪問による相談支援を行う。	適応指導教室「みらい塾」の運営 指導員の配置 訪問指導アドバイザー（臨床心理士）、 教育相談員、訪問相談員による相談の実施 NPOの活用	適応指導教室「みらい塾」の運営 指導員の配置 訪問指導アドバイザー（臨床心理士）、 教育相談員、訪問相談員による相談の実施 NPOの活用	適応指導教室「みらい塾」の運営 指導員の配置 訪問指導アドバイザー（臨床心理士）、 教育相談員、訪問相談員による相談の実施 NPOの活用	相談、支援を継続し、個々の状況に応じた適切な対応を進める。不登校など増加傾向にある、問題を抱える家庭に対して、迅速に対応できる支援体制の充実			複雑多様化する要因に対応できる支援体制 早期対応、早期解消を進めることができる体制の確保 学校、関係機関との連携体制				適応指導教室「みらい塾」の運営 指導員の配置 訪問指導アドバイザー、教育相談員、訪問相談員による相談の実施
					評価指標 不登校児童生徒の割合と適応指導教室「みらい塾」通級児童生徒数							
					平成25年度の評価		A	平成25年度の評価			A	
市計画<249>	継続	継続	継続	継続	個々の状況に応じた、相談、指導支援を進め問題の解消を図った。			学校、関係機関と連携を図り、スクールカウンセラー、訪問指導アドバイザーなど専門知識を有する人材を積極的に活用した			継続	
青少年課	事業費(千円)	13,148	13,149	13,029							14,348	

1-02-002	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する					平成25年度実績
青少年健全育 成啓発事業	「地域の子どもは地域で育てる活動」を推進するため、学校、PTA、自治会、関係団体と連携し、地域に密着した青少年の健全育成活動の推進と健全育成の啓発を進める。	青少年健全育成大会の開催 安全安心講演会の開催 子どもサポートセンターだより「きずな」の発行	青少年健全育成大会の開催 安全安心講演会の開催 子どもサポートセンターだより「きずな」の発行	青少年健全育成大会の開催 安全安心講演会の開催 子どもサポートセンターだより「きずな」の発行	青少年をとりまく環境の変化に対応した啓発活動を進める。			各地域の特色を生かし、連携し育成活動を推進する。				青少年健全育成大会の開催（6月23日参加人数77人）子どもサポートセンターだより「きずな」の発行年4回
					評価指標 委員会の開催回数							
					平成25年度の評価		A	平成25年度の評価			A	
市計画<311>	継続	継続	継続	継続	青少年健全育成大会の開催。子どもサポートセンターだより「きずな」の発行など啓発活動を進めた。			学校、PTA、地域、関係機関の協力による、青少年健全育成大会の開催。「きずな」の発行。			継続	
青少年課	事業費(千円)	336	348	348							334	

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成25年度の評価			平成25年度の評価					

1-02-101 いじめ等問題 対策委員会 (青少年健全 育成事務経 費)	事業内容 いじめや不登校の実態把握 や改善策、防止対策に関し て調査審議する。 委員10名	平成26年度 いじめ等問題対策委 員会開催	平成27年度 いじめ等問題対策委 員会開催	平成28年度 いじめ等問題対策委 員会開催	めざす 続ける 点検する いじめや不登校の問題に対して 改善策、防止対策の意見を求め る。	委員会の意見の反映					平成25年度実績 いじめ問題対策委 員会の開催(7月 30日)
経常経費	継続	継続	継続	継続	評価指標 委員会の開催回数	平成25年度の評価 A					継続
青少年課	事業費(千円)	69	69	69	平成25年度の評価 A 委員会を開催して、いじめ、不 登校等について協議した。	平成25年度の評価 A 情報モラル教育の推進、いじめアンケート調査の取 組について協議を進めた。					69

1-02-102 いじめ対策委 員会 (青少年健全 育成事務経 費)	事業内容 法律に基づき、各学校に教 員、スクールカウンセラー (有識者)を構成員とした 「いじめ対策委員会(仮 称)」を設置し、いじめの 早期発見、改善、防止を図 る。	平成26年度 各学校で開催する (仮称)いじめ対策 委員会に係るスクー ルカウンセラー(有 識者)の経費	平成27年度 各学校で開催する (仮称)いじめ対策 委員会に係るスクー ルカウンセラー(有 識者)の経費	平成28年度 各学校で開催する (仮称)いじめ対策 委員会に係るスクー ルカウンセラー(有 識者)の経費	めざす 続ける 点検する いじめの早期発見、改善、防止 を図る。	委員会の意見反映					平成25年度実績
経常経費	新規	新規	継続	継続	評価指標 委員会の開催回数	平成25年度の評価					
青少年課	事業費(千円)	182	182	182	平成25年度の評価	平成25年度の評価					

【施策3 地域が支える健全育成活動の充実】

- 子どもサポートセンターの相談・支援機能を核として、家庭、学校、地域との連携を強化するとともに、地域の教育力の向上や各地区の健全育成活動を支援します。
- 各種大会や地域の安心安全講座などを通じて全市民的な健全育成に関する意識の高揚を図ります。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画			期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
					懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
					平成25年度の評価			平成25年度の評価					
1-03-001	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績
青少年健全育成連絡協議会支援事業	学校、家庭、地域が一体となり、地域で子どもを守り育み、安全安心な地域環境づくりをめざすため、6地区の青少年健全育成連絡協議会の活動を支援する。	青少年健全育成連絡協議会への支援	青少年健全育成連絡協議会への支援	青少年健全育成連絡協議会への支援	継続した支援により、各地区の活発な活動が生まれる。			学校、地域との連携					青少年健全育成連絡協議会への支援
					評価指標			各地区交流活動等の開催数					
					平成25年度の評価			A		平成25年度の評価			A
					各地域で、活発な活動が行われた。			各地区で交流事業、研修等が行われた。					
市計画<254>	継続	継続	継続	継続									継続
青少年課	事業費(千円)	450	450	450									450
1-03-002	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績
青少年安全対策事業	問題行動等の未然防止や対応のため、関係機関や地域と連携を図り、各種活動を協働して行い、青少年の非行防止を推進する。 子どもたちの安全確保のため、スクールガードリーダーによる学校施設、通学路等の安全確認及び巡回指導を実施する。	専任指導員による補導、監視活動や不審者対応 学校・自治会・関係機関等との情報交換 不審者情報のメール配信 スクールガードリーダーによる学校施設・通学路等の安全確認 通学路安全指導員による団地内の安全確保	専任指導員による補導、監視活動や不審者対応 学校・自治会・関係機関等との情報交換 不審者情報のメール配信 スクールガードリーダーによる学校施設・通学路等の安全確認	専任指導員による補導、監視活動や不審者対応 学校・自治会・関係機関等との情報交換 不審者情報のメール配信 スクールガードリーダーによる学校施設・通学路等の安全確認	地域の見守り活動と連携し、子どもたちの安全確保を進めて行く。			情報収集と迅速な情報提供 関係機関、地域との連携					専任指導員、スクールガードリーダー、通学路安全指導員の配置 不審者情報のメール配信(配信件数5件)
					評価指標			不審者発生件数、問題行動の件数					
					平成25年度の評価			A		平成25年度の評価			A
					地域の協力により、子どもたちの安全確保が図られた。			迅速な不審者の発信に努め、子どもたちの安全確保を図った。					
市計画<256>	継続	継続	継続	継続									継続
青少年課	事業費(千円)	8,535	5,793	5,674									9,977
1-03-002-1	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績
青少年安全対策事業 [拡大]	ネットトラブルから子どもたちを守るため、小中学校においてネットパトロールを実施する。	小中学校14校にネットパトロールができる環境を整備する。 ネットパトロールの実施	ネットパトロールの実施	ネットパトロールの実施	ネットパトロールにより、ネット上での監視、指導をおこなう。			情報収集と迅速な児童生徒への指導					
					評価指標			不審者発生件数、問題行動の件数					
					平成25年度の評価			平成25年度の評価					
市計画<359>	拡大	拡大											
青少年課	事業費(千円)	303											

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成25年度の評価			平成25年度の評価					

1-03-003	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	創る	拡げる	改善する						平成25年度実績
放課後子ども 教室事業	放課後や長期休業中に小学校の余裕教室等を活用して、児童の活動拠点を設け、学習支援等の活動を行う。当面、大曲小学校においてモデル実施する。	コーディネーター、安全管理員、学習アドバイザーを配置し、週1回程度開催	コーディネーター、安全管理員、学習アドバイザーを配置し、週1回程度開催	コーディネーター、安全管理員、学習アドバイザーを配置し、週1回程度開催	モデル実施から実践へ向けて事業化する。	児童家庭課、学童クラブとの連携					コーディネーター、安全管理員、学習アドバイザーを配置して開催。年間延べ参加人数2664人		
					評価指標 参加児童数								
					平成25年度の評価 A			平成25年度の評価 A					
					放課後子ども教室通じての、児童の活動拠点の設置及び学習支援の活動を進めた。			学習支援(算数、国語)を中心に教室を開催。平均で全学年約145人の児童が参加した。					
市計画<312>	継続	継続	継続	継続	継続								
青少年課	事業費(千円)	937	940	940	901								

1-03-004	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	改善する						平成25年度実績
成人式開催事業	成人としての自覚と責任を促し、地域社会の一員としての期待を認識できるように成人式を実施する。	成人式の開催	成人式の開催	成人式の開催	若者のふるさと意識を醸成するという視点も重要。アトラクションの内容については、時代の流れに対応し改善していく。	地域づくり、まちづくりに貢献できる人材の育成は必要であり、より多くの若者が集うよう事業内容を改善していく。					成人式の開催 参加者441名 参加率68.4% 対象者645名		
					評価指標 参加率(参加者/対象者)								
					平成25年度の評価 A			平成25年度の評価 A					
					社会人として自覚を促し、ふるさとへの思いを育てるよう事業を行った。			高い参加率の事業であり、社会人としてのニーズにあった内容で実施した。					
市計画<251>	継続	継続	継続	継続	継続								
社会教育課	事業費(千円)	676	696	696	652								

1-03-005	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績
青少年健全育 成振興事業	子どもたちの豊かな心を育て、生きる力を育て健やかでたくましい子どもたちを育成するための活動を推進する。	青春メッセージの開催 青少年リーダー養成事業(子ども会議)への参画 青少年体験交流事業への参加	青春メッセージの開催 青少年リーダー養成事業(子ども会議)への参画 青少年体験交流事業への参加	青春メッセージの開催 青少年リーダー養成事業(子ども会議)への参画 青少年体験交流事業への参加	様々な体験活動の提供により、子どもたちの豊かな心を育成する。	学校、地域と連携した事業の開催					少年の主張石狩大会(7月18日中学生1人)青春メッセージ(11月23日参加人数100人子ども会議(11月23日中学生12人、参加者60人)		
					評価指標 参加数								
					平成25年度の評価 A			平成25年度の評価 A					
					青春メッセージを開催及び少年の主張石狩大会への参加を通して豊かな心の育成が図られた。			学校、PTA、健連協と連携し、青春メッセージを開催した。					
市計画<253>	継続	継続	継続	継続	継続								
青少年課	事業費(千円)	65	65	65	59								

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成25年度の評価			平成25年度の評価					

1-03-101	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する				平成25年度実績	
青少年健全育成推進委員会 (青少年健全育成事務経費)	青少年の健全育成に関し必要な事項を調査審議する。委員15名	青少年健全育成推進委員会の開催	青少年健全育成推進委員会の開催	青少年健全育成推進委員会の開催	健全育成施策の点検、意見を求める。				委員会の意見の反映			青少年健全育成推進委員会の開催(6月17日)
					評価指標	委員会の開催回数						
					平成25年度の評価	A			平成25年度の評価			A
経常経費	継続	継続	継続	継続	委員会を開催し、問題行動、適応指導等について協議した。			平成25年度子どもサポートセンター活動計画について意見を求め、了承のもと活動した。			継続	
青少年課	事業費(千円)	120	120	120							120	

1-03-102	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する				平成25年度実績	
青少年健全育成経費 (青少年健全育成事務経費)	5地区広域補導連絡協議会・北海道青少年育成協会負担金 借上車経費	協議会・協会への参加	協議会・協会への参加	協議会・協会への参加	情報の収集・共有により健全育成施策を円滑に進める。				近隣市町村との連携を図り健全育成を目指す。			協議会総会(8月9日)、協議会研修会(10月25日、2月7日) 特別研修会(9月2日)
					評価指標	協議会への参加回数						
					平成25年度の評価	A			平成25年度の評価			A
経常経費	継続	継続	継続	継続	協議会研修会に参加し、情報収集を進めた。			研修会に参加、健全育成大会について近隣市町村と研修を進めた。			継続	
青少年課	事業費(千円)	527	527	528							510	

政策2 「生きる力」を育む学校教育の推進

施策4 幼児教育の振興・充実

施策5 豊かな心を育む教育の充実

施策6 確かな学力を育てる教育の充実

施策7 健やかな体を育てる教育の充実

施策8 特別支援教育の充実

施策9 社会の変化や課題に対応した教育の推進

【施策4 幼児教育の振興・充実】

- 多様な体験を重視した特色ある幼児教育を推進するとともに、障がい児の幼稚園への入園を促進します。
- 家庭・地域と幼稚園等の連携を重視するとともに、幼稚園、保育所、小学校の連携を推進します。
- 教育環境の向上、教職員研修の充実を図るため幼稚園活動への支援を行います。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成25年度の評価			平成25年度の評価					

2-04-001	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	評価指標					平成25年度実績																
幼稚園就園奨励費事業	私立幼稚園に通園する市内在住園児の保護者に入園料、保育料等の減免措置を行う。幼稚園の設置者に対し減免措置分を支援する。	入園料・保育料の減免を行う私立幼稚園に助成	入園料・保育料の減免を行う私立幼稚園に助成	入園料・保育料の減免を行う私立幼稚園に助成	<table border="1"> <tr> <td>懐く</td> <td>励む</td> <td>挑む</td> <td>生涯学習環境整備</td> <td>社会貢献人材育成</td> <td>産学官民の連携</td> <td>地域の教育力</td> <td>総合的な教育施策</td> </tr> <tr> <td colspan="3">平成25年度の評価</td> <td colspan="5">平成25年度の評価</td> </tr> </table>					懐く	励む	挑む	生涯学習環境整備	社会貢献人材育成	産学官民の連携	地域の教育力	総合的な教育施策	平成25年度の評価			平成25年度の評価					入園料・保育料の減免を行う私立幼稚園に助成 対象園児 769名 基準単価変更
懐く	励む	挑む	生涯学習環境整備	社会貢献人材育成						産学官民の連携	地域の教育力	総合的な教育施策														
平成25年度の評価			平成25年度の評価																							
市計画<200>	継続	継続	継続	継続						継続																
児童家庭課	事業費(千円)	99,431	88,294	88,294						83,615																

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点				平成25年度実績	
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力		総合的な 教育施策
			平成25年度の評価			平成25年度の評価					

2-04-002	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度					平成25年度実績			
幼稚園就園準備支援事業	幼稚園が実施する満2歳児を対象とした子育て支援事業の参加に係る保護者負担を支援する。	子育て支援事業参加費の助成	子育て支援事業参加費の助成	子育て支援事業参加費の助成	評価指標 平成25年度の評価				子育て支援事業の参加費を助成対象園児210名			
市計画<201>	継続	継続	継続	継続					継続			
児童家庭課	事業費(千円)	1,148	1,148	1,148					1,148			

2-04-003	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する			平成25年度実績
幼稚園協会連携事業	市内私立幼稚園8園の連携、協力体制を強化し、幼児教育の振興を図るため、幼稚園協会を支援する。	幼稚園協会に対する助成	幼稚園協会に対する助成	幼稚園協会に対する助成	幼稚園教育振興のため、内容の確認を行いながら継続して助成を行う。	続ける	点検する	市内私立幼稚園の連携、協力体制を強化し、幼稚園教育の充実を図る必要がある。		補助金の助成により、全市の幼稚園教員の交流が図られた
市計画<202>	継続	継続	継続	継続	評価指標		幼児教育の資質向上	平成25年度の評価		継続
教育総務課	事業費(千円)	160	160	160	平成25年度の評価		A	A		160

2-04-004	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	広げる	改善する			平成25年度実績
幼稚園振興事業	幼児教育の振興と保護者の負担軽減を図るため、幼稚園教員研修、幼児教育における教材教具、障がい児教育における教材教具並びに人件費等の経費を助成する。	私立幼稚園の設置者に対する教材費、職員研修、障がい児教育費の助成	私立幼稚園の設置者に対する教材費、職員研修、障がい児教育費の助成	私立幼稚園の設置者に対する教材費、職員研修、障がい児教育費の助成	幼稚園経営の安定化、幼児教育の充実、保護者負担軽減の視点から、市内各幼稚園を支援する。	広げる	改善する	私立幼稚園の教育内容の充実を図るため教職員研修、障がい児教育、教材教具の充実などの支援が必要である。		補助金の助成により、幼児教育の充実が図られた。
市計画<203>	継続	継続	継続	継続	評価指標		教材購入・職員研修・障がい児保育の実績	平成25年度の評価		継続
教育総務課	事業費(千円)	6,886	6,886	6,886	平成25年度の評価		A	A		6,886

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成25年度の評価			平成25年度の評価					

2-04-101	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する				平成25年度実績	
幼稚園・保育園・小学校連携推進事業 (教育振興経費)	幼児教育から学校教育への移行にあたり、幼稚園、保育園、小学校が抱える問題点を整理するための懇話会を設置し、スムーズな移行を図るための連携、懇話及び研修を行う。 平成23年「幼児教育の連携に関する懇話会」を設置。	懇話会の開催 研修会の実施	懇話会の開催 研修会の実施	懇話会の開催 研修会の実施	幼児教育の振興・充実を図るとともに幼稚園・保育園から小学校への円滑な移行を図る。				幼児教育について共通の理解と相互連携を図るための懇話会を設置し、幼稚園、保育園、小学校関係者の連携を深める。			「懇話会」の実施ができなかった。
					評価指標	会議等の開催回数						
経常経費	継続	継続	継続	継続	平成25年度の評価	B			平成25年度の評価	B		
教育総務課	事業費(千円)	0	0	0	「懇話会」を実施、アクションプランの作成ができなかった。			昨年、幼児教育から義務教育へのスムーズな移行について検討してきたが、具体的なアクションについて実施できなかった。			継続	
												0

【施策5 豊かな心を育む教育の充実】

- 1 人を思いやる心や人とかかわる力を育てる豊かな体験活動を推進します。
- 2 基本的な倫理観や思いやりの心などを育む教育を推進します。
- 3 いじめ、不登校や様々な問題に適切な対応をするとともに、自他の理解を深め、よりよい人間関係を醸成する生徒指導を充実します。
- 4 豊かな感性や想像力を育む読書活動を推進します。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成25年度の評価			平成25年度の評価					

2-05-001	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績	
学校教育振興事業	児童生徒の「生きる力」を育み、自ら課題を見つけ、主体的、創造的に取り組む資質を養う総合学習や、学校の創意工夫を活かした特色ある学校づくり、職業体験を通して社会人としての自立意識を育てるインターンシップ事業を推進する。	総合学習の実施 特色ある学校づくり 職場体験の実施	総合学習の実施 特色ある学校づくり 職場体験の実施	総合学習の実施 特色ある学校づくり 職場体験の実施	各校が独自の教育を推進するために継続して助成を行う。				児童生徒の「生きる力」を育み、社会性を身につける機会の充実を図るため、各校が自主性、独自性を生かした教育活動を行うことが必要である。					補助金の助成により、児童生徒の「生きる力」が育まれた
					評価指標			総合学習の実施状況						
					平成25年度の評価			A		平成25年度の評価			A	
市計画<301>	継続	継続	継続	継続	各校教育振興会に助成することにより、各校が特色ある教育を実現している。			助成により各校が自主性、独自性を生かし、様々な体験をさせることにより、児童生徒の「生きる力」が育まれた。					継続	
教育総務課	事業費(千円)	7,534	7,534	7,534									7,534	

2-05-002	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績	
創意工夫展・書写展事業	児童生徒の科学技術に対する興味関心を高め、創意・創造性を育成するとともに、日本伝統の毛筆・硬筆を通じて個性の伸長と豊かな情操の涵養を図るため、創意工夫展及び書写展を開催する。	創意工夫展の開催 書写展の開催	創意工夫展の開催 書写展の開催	創意工夫展の開催 書写展の開催	子どもたちの発想した作品を多くの市民に関心を寄せてもらう。				学校と連携し、子どもたちの柔軟なアイデアを育んでいく。					9月創意工夫展の開催。1月書写展の開催。
					評価指標			出展作品数						
					平成25年度の評価			A		平成25年度の評価			A	
市計画<252>	継続	継続	継続	継続	創意工夫展の開催 創意工夫展、書写展を開催し子どもたちの作品を展示できた。			学校と連携し、開催を進めた。優秀作品には賞を授与し讃えた。					継続	
青少年課	事業費(千円)	183	185	185									179	

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成25年度の評価			平成25年度の評価					

2-05-003	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績	
心の教育推進事業	児童・生徒に基本的な生活習慣や規範意識を身に付けさせるとともに、自尊感情や他人への思いやり、生命を尊重する心、公共の精神など、道徳の時間などを中心にした豊かな心を養う教育の充実に取り組む。	福祉読本編集委員会の開催 小学校 29千円 中学校 27千円	福祉読本編集委員会の開催	福祉読本編集委員会の開催	発達段階に応じて、規範意識や公正な判断力、生命・人間尊重の精神など子どもたち成長を育む教育の推進・充実。			道徳教育や、福祉・人権教育を行う上で参考となる教材資料の提供が必要である。 学校だけでなく、家庭、地域との連携した取り組みが必要である。						編集委員会を小中各5回開催。 H27年度から使用する福祉読本を作成 小学校 3,100千円 中学校1,700千円
市計画<302>	継続	継続	継続	継続	評価指標 配布した教材資料の活用状況			平成25年度の評価 A					継続	
学校教育課	事業費(千円)	56	80	80	福祉読本編集委員会を5回開催し、H27年度から使用する福祉読本「ともに生きる」の改訂版について検討し、作成した。			これまでの福祉読本「ともに生きる」の内容を検討し、H27年度から使用する改訂版を作成することができた。					4,800	

2-05-004	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績	
心の教室相談事業	児童生徒の悩みや不安、ストレス等の解消を図るとともに、いじめや不登校の未然防止と早期把握を図るため、小中学校に心の教室相談員を配置する。	小学校8校、中学校6校に心の教室相談員を配置(1人当たり年間400時間)	小学校8校、中学校6校に心の教室相談員を配置(1人当たり年間400時間)	小学校8校、中学校6校に心の教室相談員を配置(1人当たり年間400時間)	気軽に相談できる、相談しやすい体制づくり。			子どもたちとの信頼関係の構築 学校、スクールカウンセラー、子どもサポートセンター相談員との連携						小学校8校、中学校6校に心の教室相談員を配置(1人当たり年間400時間) 相談件数 小学校168件 中学校149件
市計画<250>	継続	継続	継続	継続	評価指標 相談件数			平成25年度の評価 A					継続	
青少年課	事業費(千円)	6,292	6,289	6,289	相談員が相談しやすい体制づくりを進め、いじめや不登校の未然防止や早期発見に努めた。			不登校の要因は複雑多様化していることから、スクールカウンセラー等専門知識を有する人材と連携を図った。					6,186	

2-05-005	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績	
学校図書館活用事業 [事業名変更]	学校図書整備目標として設定された「学校図書館図書標準」を満たすため、重点的に中学校の図書購入を行うとともに、随時新しい図書の更新も行う。 また学校図書館の電算データベースによる管理化に伴い学校図書センターを拠点として、学校図書の充実を図る。	図書の購入 学校図書館ネットワークシステム借上げ	図書の購入 学校図書館ネットワークシステム借上げ	図書の購入 学校図書館ネットワークシステム借上げ	全校の図書充足率が100%に達した後は、資料更新を重点においた学校図書館の環境整備を図り、子どもたちの読書意欲を高める。			読書活動は、子どもたちの豊かな感性や想像力を育む上で必要である。 学校と市図書館、図書館司書との連携による魅力ある学校図書館整備(子どもたちが読みたくなる本の提供含む)が必要である。						図書の購入 学校図書館ネットワークシステム借上げ
市計画<303>	継続	継続	継続	継続	評価指標 一人あたり年間貸出冊数			平成25年度の評価 B					継続	
学校教育課	事業費(千円)	11,911	12,791	12,791	小中学校の図書充足率100%を達成したものの、資料更新を必要とする資料は約6割を占める。			学校図書館の環境整備はある程度進められているが、学校図書館活用の取り組みや読書指導の強化が今後の課題である。					11,349	

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成25年度の評価			平成25年度の評価					

2-05-005-1	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する					平成25年度実績
学校図書館活用事業 【事業名変更】 【拡大】	学習や読書、言語活動を充実させていくため、学校に図書館司書を巡回派遣する。	学校図書センターに図書館司書3名配置	学校図書センターに図書館司書3名配置	学校図書センターに図書館司書3名配置	学校司書派遣により、読書・学習・情報センターとしての学校図書機能の向上を図る。							/
					評価指標	一人あたりの年間貸出冊数 学校への団体貸出冊数						
					平成25年度の評価	平成25年度の評価						
市計画<344>	拡大	拡大	継続	継続								
学校教育課	事業費(千円)	2,863	2,979	2,979								

【施策6 確かな学力を育てる教育の充実】

- 1 基礎・基本をしっかり身に付けさせ、それらを活用していく力を育てるために、個に応じたきめ細かな指導の充実を図ります。
- 2 総合的な学習の時間を中心に、体験的・問題解決的及び探求的な学習を推進します。
- 3 学ぶ喜びや楽しさが実感できるような授業のあり方について実践的な研究を推進します。
- 4 学力検査等の結果を生かした授業方法の改善に努めます。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成25年度の評価			平成25年度の評価					

2-06-001	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績	
学校教育相談員活用事業	学校を取り巻く環境は非常に複雑化してきており、課題も指摘されていることから、それらの課題を的確に取り組んでいくために、専門的知識や経験豊富な教員経験者を配置する。	学校教育相談員を配置し課題解決に向けた指導・助言を実施	学校教育相談員を配置し課題解決に向けた指導・助言を実施	学校教育相談員を配置し課題解決に向けた指導・助言を実施	各学校長や教育委員会職員等への指導・助言、情報提供による社会の変化に対応した学校経営等の充実。			今日の教育課題の解決のための指導助言が必要である。						学校教育相談員を配置し課題解決に向けた指導・助言を実施
					評価指標	各学校への訪問回数								
					平成25年度の評価	A					平成25年度の評価	A		
					必要に応じて、各学校への訪問や指導・助言、情報提供等を行った。			指導主事的な立場で各学校への指導・助言を行うとともに、学校経営の充実や職員の資質向上を図るための研修計画、学校教育推進の方針の作成など、学校教育の充実が図られている。					継続	
市計画<304>	継続	継続	継続	継続								継続		
学校教育課	事業費(千円)	2,495	2,490	2,490								2,313		

2-06-002	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績	
学力向上推進事業	市全体の学習状況を捉え、本市の課題を明らかにするとともに、子どもの学習意欲を高める指導内容や個に応じた指導方法の工夫・改善について研究、実践に取り組み、学力向上の指導の充実を図る。	標準学力検査の実施 学力向上プロジェクトの開催 全国学力・学習状況調査への参加	標準学力検査の実施 学力向上プロジェクトの開催 全国学力・学習状況調査への参加	標準学力検査の実施 学力向上プロジェクトの開催 全国学力・学習状況調査への参加	現状の児童生徒の学力状況を分析、検証し学力向上につながる指導方法等の検討。			学力向上を図るためには、現状の児童生徒の学力を把握することが必要である。 学校での取組のみならず、家庭、地域と連携した取組も必要である。						標準学力検査の実施 全国学力・学習状況調査への参加 上記調査結果に基づき、中学校区ごとの検討会の実施
					評価指標	全市小中学校正答率								
					平成25年度の評価	A					平成25年度の評価	A		
					標準学力検査の実施、道が実施した全国学力・学習状況を活用した調査への全校参加			標準学力検査結果や全国学力・学習状況調査結果を分析・検証したなかで、学力向上に向けた具体的な方策を示していくとともに、各校で指導方法の工夫が見られる。					継続	
市計画<306>	継続	継続	継続	継続								継続		
学校教育課	事業費(千円)	5,367	5,367	5,367								5,138		

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成25年度の評価			平成25年度の評価					

2-06-101	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する					平成25年度実績
小学校教育振興経費 (小学校教育振興経費)	小学校教育振興経費 (教材・教具等)	教材・教具教育環境の整備 経常分12,541千円 臨時分 313千円 (サッカーゴール購入~双葉小等)	教材・教具教育環境の整備	教材・教具教育環境の整備	学校教育における教材教具の充実。				各校の特色にあった教材教具の充実のため、学校現場との連携を図る必要がある。			教材教具の整備
					評価指標							
					平成25年度の評価	A	平成25年度の評価			A		
経常経費	継続		継続	継続	教材教具の充実を図った			各校の特色、時代に合った教材教具が必要となり、各校の事情に合った支出ができるよう、また、節減に努めながらも効果ある教育となるよう指導している。			継続	
教育総務課	事業費(千円)	12,854	12,541	12,774							12,123	

2-06-102	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する					平成25年度実績
中学校教育振興経費 (中学校教育振興経費)	中学校教育振興経費 (教材・教具等)	教材・教具教育環境の整備 経常分11,020千円 臨時分 1,280千円 (吹奏楽部楽器購入等)	教材・教具教育環境の整備	教材・教具教育環境の整備	学校教育における教材教具の充実。				各校の特色にあった教材教具の充実のため、学校現場との連携を図る必要がある。			教材教具の整備
					評価指標							
					平成25年度の評価	A	平成25年度の評価			A		
経常経費	継続	継続	継続	継続	教材教具の充実を図った			各校の特色、時代に合った教材教具が必要となり、各校の事情に合った支出ができるよう、また、節減に努めながらも効果ある教育となるよう指導している。			継続	
教育総務課	事業費(千円)	12,300	11,020	11,225							13,327	

【施策7 健やかな体を育てる教育の充実】

- 健康に必要な知識・実践的な態度を身につけるために、保健教育や体力向上の取組みを推進します。
- 望ましい食習慣を身につけ、家庭や地域と連携した食育を推進します。
- 安全で安心な給食を提供する取組みを進めるとともに、施設・設備の整備を進めます。
- 児童生徒が安心して学校生活が過ごせるよう、地域ぐるみで安全・安心な環境づくりを推進します。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成25年度の評価			平成25年度の評価					

2-07-001	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績	
中学校体育連盟支援事業	中学校体育連盟連盟が実施する市内、管内大会を通じて中学生の体位、体力の向上、スポーツに対する意識の向上と心身の健全な育成を図るため、同連盟への事業費の支援により、生徒間の交流や習得した技能を發揮する場の提供をはじめ、市内スポーツと市教育の振興に寄与する。	中体連春季大会、中体連秋季大会の開催 石狩管内中体連の開催	中体連春季大会、中体連秋季大会の開催 石狩管内中体連の開催	中体連春季大会、中体連秋季大会の開催 石狩管内中体連の開催	中学校における体育部活動振興のため継続して助成を行う。				中学校における体育振興、生徒間の交流、スポーツに対する意識の向上と心身の健全な育成が必要である。					本市中体連春季大会の開催 本市中体連秋季大会の開催 石狩管内中体連の開催 全道中体連柔道大会の開催
市計画<223>	継続	継続	継続	継続	評価指標 実施種目数			平成25年度の評価	A	平成25年度の評価			A	継続
教育総務課	事業費(千円)	3,279	3,279	3,279	中体連に助成することにより、市内中学生のスポーツ振興が図られた。			中体連が、円滑に大会を運営できるよう助成を行うことにより、生徒間の交流、生徒の健全な育成が図られると共に、スポーツ振興が図られた。					3,279	

2-07-002	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績	
全国全道中体連・中学校文化部活動大会出場支援事業	市立中学校の生徒が、日本中学校体育連盟、北海道中学校体育連盟が主催する大会に出場する場合や予選会等を経て全道規模以上の文化部の大会に出場する場合、その派遣に要する費用の一部を助成する。	全国・全道中体連大会に出場する場合の経費の助成 全国・全道規模の文化部の大会に出場する経費の助成	全国・全道中体連大会に出場する場合の経費の助成 全国・全道規模の文化部の大会に出場する経費の助成	全国・全道中体連大会に出場する場合の経費の助成 全国・全道規模の文化部の大会に出場する経費の助成	中学生が部活動に対し十分な活動ができるよう支援し、部活動を活性化させる。				中学校における部活動の活性化と併せて、保護者負担の軽減を図ることが必要である。					(中体連選手強化費を廃止し、交通費等は原則全額支給) 中体連20団体95名 文化部2団体52名に助成 予備費充当 2788千円
市計画<225>	継続	継続	継続	継続	評価指標 大会出場生徒数			平成25年度の評価	A	平成25年度の評価			A	見直し
教育総務課	事業費(千円)	2,100	2,100	2,100	中体連、文化部活動の全道、全国大会出場者に対し旅費等の助成を行なった。			全道、全国大会への出場経費を助成することにより、保護者の負担軽減、スポーツ、文化活動への参加拡大を図る。					5,097	

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成25年度の評価			平成25年度の評価					

2-07-003	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績		
食に関する指導の推進事業	児童・生徒が生涯にわたり健康な生活を送ることができるよう、学校給食、教科等の時間の中で、自分で健康を考える力を育むため、食に関する指導の充実を図る。	学校栄養教諭による食に関する指導の実施	学校栄養教諭による食に関する指導の実施 「食の課題と指導の手引き」改訂版の作成	学校栄養教諭による食に関する指導の実施	児童・生徒が健康な生活を送るために食習慣や食に関する自己管理能力等を身につけることを目指す。									学校栄養教諭を中心とした食に関する指導を実施した。	
					評価指標			食に関する授業実施時数							
					平成25年度の評価			A		平成25年度の評価			A		
					望ましい食習慣を身につけ、自身の健康を維持していくための食指導を実施した。			「食の課題と指導の手引き」を活用し、給食の時間、教科指導の時間に栄養教諭が中心となり指導を行った。栄養教諭の人員や他業務との関係、学校での指導時数の問題などから十分な時数が確保できていない。					継続		
市計画<208>	継続	継続	継続	継続											継続
給食センター	事業費(千円)	58	558	64											56

2-07-004	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績		
学校給食衛生管理事業	給食を実施するうえで、食品等の安全衛生管理が最も重要であることから、施設設備機器類を整備、更新するとともに微生物検査等を実施し、徹底した衛生管理を実施して安全で安心な給食を提供する。	給食用食品の微生物検査の実施 給食施設・設備の更新	給食用食品の微生物検査の実施 給食施設・設備の更新	給食用食品の微生物検査の実施 給食施設・設備の更新	衛生管理を徹底するために設備機器を整備・更新し、安心・安全な給食を提供する。									食材等の微生物検査の実施及び設備・備品の更新を実施 保温食缶更新14個 コンテナ更新 3台 配膳台 2台	
					評価指標			設備機器更新率							
					平成25年度の評価			B		平成25年度の評価			B		
					老朽化した施設、設備機器、備品等を計画的に更新するとともに、食品中等の微生物検査を実施した。			備品等の老朽化が進んでいるが、更新がそれに追いついていない状況にある。今後も引き続き計画的な更新が必要となってくる。					継続		
市計画<207>	継続	継続	継続	継続											継続
給食センター	事業費(千円)	2,436	2,481	3,529											2,563

2-07-004-1	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績		
学校給食衛生管理事業 [拡大]	小中学校の食器更新計画に基づき、計画的に更新する。	小学校用食器・中学校用食器の更新	小学校用食器・中学校用食器の更新	小学校用食器・中学校用食器の更新	衛生管理を徹底するために設備機器を整備し、安心・安全な給食を提供する。										
					評価指標			設備機器更新率							
					平成25年度の評価			平成25年度の評価							
市計画<351>	拡大	拡大	継続	継続											
給食センター	事業費(千円)	2,234	4,088	4,173											

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成25年度の評価			平成25年度の評価					

2-07-005	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績
学校給食費公 会計化事業 [新規]	適正で透明な会計処理及び給食費収納に係る教職員の事務負担軽減のため、私会計で運営している学校給食費の公会計化を実施する。	学校給食費の公会計化に向けた検討	収納管理システムの構築 給食管理システムの変更	公会計による給食費会計の運営	事務の透明性の向上、保護者の負担の公平性の確保する。			学校給食費の予算及び決算処理に関する透明性の一層の向上を図り、教職員等の事務軽減を図る。					/
					評価指標			進捗率・収納率					
					平成25年度の評価			平成25年度の評価					
市計画<350> 給食センター	新規 事業費(千円)	新規	継続	継続									
			1,601	8,574									

2-07-101	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績
学校保健事業 (小学校保健 経費・中学校 保健経費)	児童・生徒及び教職員の健康保持・増進を図り、定期健康診断や定期歯科検診等の各種検診事業を実施する。	各種検診事業、関係備品購入、健康づくり研修会の開催 内科検診看護師賃金 小学校9,144千円 臨時 53千円 中学校5,030千円 臨時 18千円	各種検診事業、関係備品購入、健康づくり研修会の開催 内科検診看護師賃金	各種検診事業、関係備品購入、健康づくり研修会の開催 内科検診看護師賃金	学校保健安全法に基づく児童生徒及び教職員の健康診断を実施し、健康を保持する。			児童生徒の健やかな体を育てる教育を進めていくため、健康状態を把握することが必要である。体力向上、規則正しい生活習慣の確立などについて、学校だけでなく、家庭、地域との連携した取組が必要である。					/
					評価指標			健康診断受診率					
					平成25年度の評価			A					
経常経費 学校教育課	継続 事業費(千円)	継続	継続	継続	児童・生徒の健康診断及び教職員の健康診断を実施するとともに、教職員への健康づくりセミナーを開催した。			児童・生徒の各種健康診断の充実(平成24年度より耳鼻科検診開始)及び教職員の教職員の健康管理体制の充実が図られた。					継続 14,025
		14,245	14,174	14,215									

2-07-102	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績
スポーツ振興 センター負担 金等 (小学校管理 経費・中学校 管理経費)	学校管理下において児童生徒に事故(けが)があった場合の医療費等への補償に対応する。	学校スポーツ振興センターへの加入 小学校3,030千円 中学校1,683千円	学校スポーツ振興センターへの加入	学校スポーツ振興センターへの加入	在籍児童生徒全員の加入負担金の支出。			児童生徒のけが等に対し、医療費等の補償を行うとともに、日頃からの安全管理を行うことが必要である。					/
					評価指標			補償件数					
					平成25年度の評価			A					
経常経費 学校教育課	継続 事業費(千円)	継続	継続	継続	在籍児童生徒全員が加入し、学校管理下中の事故への補償に対応している。			発生した児童生徒のけが等に対する医療費等の補償を適切に実施した。					継続 4,754
		4,713	4,713	4,713									

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成25年度の評価			平成25年度の評価					

2-07-103	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績	
北広島市小・中学校給食運営委員会経費 (小学校給食運営経費・中学校給食運営経費)	学校給食の運営を適正かつ円滑に行うため教職員・保護者及び学校医等から助言を受ける。 運営委員 13名	運営に関する重要な事項に対する助言・委員会～ 2回開催 小学校198千円 中学校198千円	運営に関する重要な事項に対する助言・委員会～ 3回開催 小学校294千円 中学校294千円	運営に関する重要な事項に対する助言・委員会～ 2回開催	学校給食運営に関する重要な事項について助言を受ける。				透明性のある学校給食の運営を適正に行ううえで必要な委員会である。					運営に関する重要な助言をいただく委員会を各3回開催
					評価指標 開催回数									
					平成25年度の評価 A			平成25年度の評価 A						
経常経費	継続	継続	継続	継続	給食費の改定など学校給食の運営に関する重要な事項について助言を受けた。			給食費の改定など学校給食の運営に関する重要な事項について助言を受け、学校給食は適正に運営されている。					継続	
給食センター	事業費(千円)	396	588	396									472	

2-07-104	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績	
学校給食施設維持管理経費 (小学校給食運営経費・中学校給食運営経費)	学校給食を提供するための施設維持管理経費	施設維持管理経費 小学校 1,497千円 臨時 974千円 中学校 4,168千円 臨時 1,759千円 営繕 3,356千円	施設維持管理経費	施設維持管理経費	学校給食を安定的に提供するうえで施設設備等を適正に維持する。				学校教育の一環として食教育にあたり教材としての学校給食を提供する。					施設・設備の修繕及び施設管理委託の実施
					評価指標 配食数									
					平成25年度の評価 A			平成25年度の評価 A						
経常経費	継続	継続	継続	継続	学校給食を安定的に提供するために計画的に施設設備等の維持管理を行った。			学校給食を安定的に提供するために計画的に施設設備等の維持管理を行った。					継続	
給食センター	事業費(千円)	11,754	5,665	5,770									7,528	

2-07-105	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	拡げる	改善する						平成25年度実績	
学校給食運営経費 (小学校給食運営経費・中学校給食運営経費)	学校給食を提供するための運営経費 栄養士3名・ボイラー技士2名分の報酬含む	市内小・中学校運営経費 小学校 8校 中学校 6校 札幌養護学校 1校 小 106,934千円 臨時 379千円 中 123,678千円 臨時 44千円	市内小・中学校運営経費 小学校 8校 中学校 6校 札幌養護学校 1校	市内小・中学校運営経費 小学校 8校 中学校 6校 札幌養護学校 1校	栄養のバランスがとれた給食を提供し食生活の改善を図る。				学校給食を通して食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけることが重要である。					市内小・中学校等に対する給食運営経費 小学校 8校 中学校 6校 札幌養護学校 1校
					評価指標 配食数									
					平成25年度の評価 A			平成25年度の評価 A						
経常経費	継続	継続	継続	継続	小学校の米飯給食を週2回から3回に変更した。			児童生徒が楽しく食事をする事、望ましい食習慣の形成を図ること、食事を通して好ましい人間関係の育成を図ることを目標に、栄養のバランスが取れた給食を提供した。					継続	
給食センター	事業費(千円)	231,035	230,612	234,763									221,925	

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成25年度の評価			平成25年度の評価					

2-07-106	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	拡げる	改善する					平成25年度実績
北海道学校給食研究協議会負担金 (小学校給食運営経費)	学校給食に係る調査研究及び情報交換を行い学校給食の向上を図るための北海道給食研究協議会運営経費 道内市町村が会員	学校運営に必要な情報の収集・提供及び情報交換 理事会・役員会の開催 関係官庁及び関係機関との連携	学校運営に必要な情報の収集・提供及び情報交換 理事会・役員会の開催 関係官庁及び関係機関との連携	学校運営に必要な情報の収集・提供及び情報交換 理事会・役員会の開催 関係官庁及び関係機関との連携	学校給食に係る調査研究及び情報交換を行う。			学校給食に係る調査研究及び情報交換を行う。			学校給食の運営に必要な情報の収集・提供及び情報交換 理事会・役員会への出席 関係官庁及び関係機関との連携	
経常経費	継続	継続	継続	継続	評価指標 加入市町村数			平成25年度の評価	A	平成25年度の評価	A	継続
給食センター	事業費(千円)	37	38	38	学校給食に係る調査研究及び情報交換を行った。			学校給食に係る調査研究及び情報交換を行うことが、学校給食の運営に生かされている。			37	

【施策 8 特別支援教育の充実】

- 1 通常の学級、特別支援学級、通級指導教室での一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導・支援を充実します。
- 2 特別支援教育コーディネーターを中心として全教職員による推進体制を充実します。
- 3 特別支援学校や関係機関との連携を充実します。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績	
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策		
			平成25年度の評価			平成25年度の評価						
2-08-001	特別支援学級への就学を奨励するとともに、保護者の負担を軽減するため学用品費等を支援する。また、通級指導教室児童を対象に通学費の支援を行う。	平成26年度 支援対象者に学用品や通学費などの助成 小学校1,224千円 中学校 758千円	平成27年度 支援対象者に学用品や通学費などの助成	平成28年度 支援対象者に学用品や通学費などの助成	めざす	続ける	点検する					平成25年度実績
特別支援教育 就学奨励費援助事業					障がいを持つ児童生徒が、十分な教育を受ける機会の確保を図るとともに、保護者の経済的負担の軽減。			障がいを持つ保護者の経済的負担の軽減を図ることが必要である。			支援対象者に学用品などの助成 小学校 1,685千円(27名) 通学助成(55名) 中学校 859千円(8名)	
					評価指標 援助児童生徒数			平成25年度の評価 A				
					特別支援学級に在籍する児童・生徒の保護者へ学用品等の経費の助成を行った。			特別支援学級に在籍する児童・生徒及び通級指導教室に通学する児童の保護者に制度を周知し、経済的負担の軽減を図った。			継続	
市計画<209>	継続	継続	継続	継続	平成25年度の評価 A			平成25年度の評価 A			継続	
学校教育課	事業費(千円)	1,982	2,184	2,222							2,544	
2-08-002	特別な支援を必要とする子どもたちの教育的ニーズに対応していくため、また教員の理解と資質の向上、保護者の理解を進めるとともに、学校内の体制の整備、学校・保護者に対する支援体制の充実させるために特別支援教育支援員・特別支援学級介助員を配置する。	平成26年度 特別支援教育支援員(16人)、特別支援学級介助員(14人)の配置 相談・指導の実施 教員研修の実施 特別支援教育講演会の開催 検査器具等の整備	平成27年度 特別支援教育支援員(19人)、特別支援学級介助員(14人)の配置 相談・指導の実施 教員研修の実施 特別支援教育講演会の開催 検査器具等の整備	平成28年度 特別支援教育支援員(19人)、特別支援学級介助員(14人)の配置 相談・指導の実施 教員研修の実施 特別支援教育講演会の開催 検査器具等の整備	めざす	広げる	改善する					平成25年度実績
特別支援教育 推進事業					通常学級に在籍する特別な配慮を必要とする児童の支援、学校全体による支援体制の充実。			特別な配慮が必要な児童に対する教員の共通理解と十分な支援体制を整えることが必要である。 特別支援教育について、学校だけではなく、保護者や地域の理解を深めることが必要である。			特別支援学級支援員12人、特別支援学級介助員14人を配置及び特別支援学級の備品・消耗品の購入、特別支援学級合同宿泊学習・運動会の実施	
					評価指標 支援員配置数			平成25年度の評価 A			B	
					特別支援学級支援員、特別支援学級介助員配置により特別支援学級合同宿泊学習・運動会の実施できた。			配慮を必要とする児童生徒への対応について学校全体で取り組む体制づくりは整備されつつあるが、今後学校の事情に応じて計画的に配置していくことが必要である。			拡大	
市計画<211>	統合	継続	継続	継続	平成25年度の評価 A			平成25年度の評価 B			拡大	
学校教育課	事業費(千円)	34,917	38,289	38,289							29,208	

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成25年度の評価			平成25年度の評価					

2-08-002-1	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	拡げる	改善する						平成25年度実績	
特別支援教育 推進事業 【拡大】	中学校における通常学級に在籍する特別な支援を必要とする児童の生活面や学習支援等を行う特別支援教育支援員を平成28年度にさらに増員して配置する。			特別支援教育支援員を中学校に3名配置 (19名 22名) 中学校配置完了	通常学級に在籍する特別な配慮を必要とする児童の支援体制の更なる充実を図るための支援員の増員。			特別な配慮が必要な児童に対する教員の共通理解と十分な支援体制を整えることが必要である。 特別支援教育について、学校だけではなく、保護者や地域の理解を深めることが必要である。						/
					評価指標 支援員配置数									
					平成25年度の評価			平成25年度の評価						
市計画<346>	拡大			拡大										
学校教育課	事業費(千円)			3,359										

2-08-101	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績	
就学指導委員会 (小学校教育 振興経費)	特別支援教育を必要とする児童生徒の就学について、調査、検討するため就学指導委員会を開催する。 委員16名	就学指導委員会の開催	就学指導委員会の開催	就学指導委員会の開催	専門家による調査や検査結果に基づく、対象児童生徒の保護者への適切な就学指導と就学先の提供。			障がいを持つ児童生徒の保護者に、子どもの状況や学校、家庭が共に、子どもの成長を支援していくことについて理解をしてもらうことが必要である。						就学指導委員会の開催(3回)
					評価指標 就学指導委員会開催回数									
					平成25年度の評価			A						
経常経費	継続	継続	継続	継続										
学校教育課	事業費(千円)	652	652	652	就学指導委員会を3回開催し、児童生徒の就学先の検討を行った。	就学時検診での検査結果や各学校の依頼による在籍児童生徒の検査結果を基に、その児童生徒に適切な就学先の検討を行い、保護者に提供することができた。					継続			
											630			

2-08-102	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	拡げる	改善する						平成25年度実績	
特別支援教育 アドバイザー の配置 (教育委員会 事務局運営経 費)	障がい児教育の専門的な知識を有する人材を学校教育課に2名配置する。(非常勤)	専門職非常勤職員配置	専門職非常勤職員配置	専門職非常勤職員配置	各学校長や教職員への指導・助言、情報提供及び保護者との相談など、特別支援教育の理解と指導力の向上を図るための支援体制の充実。			特別な配慮が必要な児童に対する教員の共通理解と十分な支援体制を整えることが必要である。 特別支援教育について、学校だけではなく、保護者や地域の理解を深めることが必要である。						専門職非常勤職員2名配置、学校・教職員に対し指導・助言、情報提供や保護者との相談などや、就学指導全般に対する業務を実施
					評価指標 特別支援教育相談件数									
					平成25年度の評価			A						
経常経費	継続	継続	継続	継続										
学校教育課	事業費(千円)	5,035	5,243	5,243	特別支援教育の理解と指導力の向上を図るため非常勤職員を配置し、支援体制の充実を図った。	就学指導の面で、適切な対応と支援をしていただくことができ、円滑な就学指導が出来た。					継続			
											5,231			

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成25年度の評価			平成25年度の評価					

2-08-103 特別支援教育 関連協議会 (教育振興経 費)	知的障がい及び言語障がい 教育の振興を図るため、北 海道障害児教育連盟、北海 道言語障害児研究協議会へ 参加する。	平成26年度 北海道障害児教育連 盟、北海道言語障害 児研究協議会への参 加	平成27年度 北海道障害児教育連 盟、北海道言語障害 児研究協議会への参 加	平成28年度 北海道障害児教育連 盟、北海道言語障害 児研究協議会への参 加	めざす 北海道障害児教育連盟、北海道 言語障害児研究協議会への負担 金の支出。	続ける 協議会へ参加することにより、学校間の連携や情 報交換が行われ、教職員の資質向上等の観点からも 必要である。	点検する 各協議会への参加状況					平成25年度実績 北海道障害児教育 連盟、北海道言語 障害児研究協議会 への参加
経常経費	継続	継続	継続	継続	各協議会へ担当教職員が参加 し、情報交換等を行っている。	全道各市の組み状況や支援体制などの情報収集や指 導方法の検討などが等が行なわれ、教職員の資質向 上が図られた。	評価指標	平成25年度の評価	A	平成25年度の評価	A	継続
学校教育課	事業費(千円)	69	69	69								71

【施策9 社会の変化や課題に対応した教育の推進】

- 1 国際化に対応するため、外国語指導助手(ALT)のもと、コミュニケーション能力の育成を図ります。
- 2 情報活用能力の育成や情報モラル教育を推進します。
- 3 市の共通実践課題として、環境、福祉、人権、平和教育を位置づけ、より充実・発展させるための取組みを推進します。
- 4 姉妹都市東広島市との交流を通して、お互いの歴史や文化を理解し、ふるさと意識の醸成を推進します。
- 5 望ましい社会性や勤労観・職業観を育成するキャリア教育を推進します。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成25年度の評価			平成25年度の評価					

2-09-001	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	拡げる	改善する						平成25年度実績	
外国語指導助手活用事業	児童・生徒の英語発音やコミュニケーション能力育成の向上を目的に各学校の外国語授業等に英語指導助手を派遣し、外国語授業等の充実を図る。	外国人の指導助手4名任用	外国人の指導助手4名任用	外国人の指導助手4名任用	新学習指導要領による小、中学校における外国語(英語)に対する指導が重要な位置を占めることに対応した、外国語授業の充実。									英語人指導助手を計画的に各小中学校へ派遣(4名)
					評価指標	英語指導助手数								
					平成25年度の評価	A					平成25年度の評価	A		
市計画<213>	継続	継続	継続	継続	小、中学校の外国語活動の授業に英語指導助手を派遣し、特にコミュニケーション能力の育成が図られている。									継続
学校教育課	事業費(千円)	15,120	15,592	15,652										15,609

2-09-002	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績	
学校ICT環境整備事業	情報社会へ適応するための情報処理能力向上をはじめ、ICTを活用した授業への対応による学力の向上、校務処理の効率化を図るため、児童生徒用・教職員用コンピュータ、周辺機器、アプリケーションの整備を行う。	小学校教育用コンピュータの更新・保守・修繕、アプリケーション等の購入、プロジェクターランプの交換	校務用コンピュータの更新・保守・修繕、アプリケーション等の購入、プロジェクターランプの交換	校務用コンピュータの更新・保守・修繕、アプリケーション等の購入、プロジェクターランプの交換	情報社会に適応、より充実した学校教育のため、計画的に更新、新しい技術の導入を行う。									校務用コンピュータ40台の更新(一部タブレットコンピュータ導入) 既存機器の保守、修繕等
					評価指標	学校ICT機器の稼働状況								
					平成25年度の評価	A					平成25年度の評価	A		
市計画<212>	継続	継続	継続	継続	情報社会に適応、より充実した学校教育のため、計画的に機器の更新、保守を行った。									見直し
教育総務課	事業費(千円)	55,657	68,359	76,300										58,838

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成25年度の評価			平成25年度の評価					

2-09-003	事業内容 郷土資料教材 化事業	平成26年度 社会科副読本編集委 員会、郷土教材化編 集委員会の開催 デジタル教材の検討	平成27年度 社会科副読本編集委 員会、郷土教材化編 集委員会の開催 社会科副読本改訂版 の作成 デジタル教材の検討	平成28年度 社会科副読本編集委 員会、郷土教材化編 集委員会の開催 デジタル教材の検討	創る 続ける 点検する 地域に根ざした授業を行うた め、市内の教育資源を題材とし た指導教材の充実。	生まれ育った地域をより知ることによる郷土愛や 授業への興味関心を引く独自の教材の提供が必要で ある。	平成25年度実績 編集委員会の開催 (5回)					
評価指標					開発した教材数/目標とする教材開発数							
平成25年度の評価			A		平成25年度の評価			B				
市計画<228>					次回改訂に向けた社会科副読本 編集委員会の開催					社会科副読本により、郷土に対する関心を高め地域 に根ざした特色ある教育を行うことができた。また、 郷土資源を活用したデジタル教材を今後増やして いく必要がある。		継続
学校教育課	事業費(千円)	73	2,912	72						52		

2-09-004	事業内容 姉妹都市子ど も大使交流事 業	平成26年度 児童生徒を東広島市 に派遣 東広島市児童生徒の 受入れ 交流校訪問(児童生 徒間交流)の実施 広島市原爆死没者慰 霊式並びに平和祈念 式への参列	平成27年度 児童生徒を東広島市 に派遣 東広島市児童生徒の 受入れ 交流校訪問(児童生 徒間交流)の実施 広島市原爆死没者慰 霊式並びに平和祈念 式への参列	平成28年度 児童生徒を東広島市 に派遣 東広島市児童生徒の 受入れ 交流校訪問(児童生 徒間交流)の実施 広島市原爆死没者慰 霊式並びに平和祈念 式への参列	めざす 続ける 点検する 教育の一環として、姉妹都市の 歴史・文化を学ぶことや学校間 の交流。また、平和の大切さを 学ぶ。	交流事業を継続することによりふるさと意識の高 揚を図るとともに、平和の重要性を認識させ、大使 が全校に広める必要がある。	平成25年度実績 小中学生合同の子 ども大使を編成 児童生徒を東広島 市に派遣、東広島 市生徒の受入れ、 交流校訪問(生徒 間交流)の実施、 広島市原爆死没者 慰霊式並びに平和 祈念式に参列					
評価指標					子ども大使派遣、受入児童生徒数							
平成25年度の評価			A		平成25年度の評価			A				
市計画<300>					小中学生を子ども大使として東 広島市、広島市に派遣し、姉妹 都市交流、実感をもった平和教 育を行った。					小中学生合同の子ども大使とし、大使としての目標 である平和の重要性、ふるさと意識の醸成を図り、 体験したことを全校に広げる活動の拡大、充実が図 られた。		継続
教育総務課	事業費(千円)	3,014	2,806	2,806						2,749		

政策3 信頼され、魅力ある学校づくりの推進

施策10 開かれた学校づくりの推進

施策11 教育環境の整備

【施策10 開かれた学校づくりの推進】

- 1 家庭や地域の教育的ニーズに対応した教育活動を推進します。
- 2 学校経営プログラムによる学校経営の推進とマネジメント・サイクルによる学校改善を推進します。
- 3 学校関係者からの学校に対する評価や結果、教育活動の成果について、保護者や地域に周知するなど、広報活動を充実します。
- 4 地域の方々の教育活動への参加や学校資源を地域へ提供するなど学校と地域の双方向の連携を推進します。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画			期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績	
					懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策		
					平成25年度の評価			平成25年度の評価						
3-10-001	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	整える	点検する							平成25年度実績
学校施設開放 事業	地域住民に学習活動の場を提供するとともに、地域と学校の交流を深める。	地域住民に学校を開放(西部小・大曲東小)	地域住民に学校を開放(西部小・大曲東小)	地域住民に学校を開放(西部小・大曲東小)	学校施設の有効利用と市民ニーズに応えた学習活動の場の提供			生涯学習の振興を図るため、地域が必要とする活動の場を提供していくことが必要である。					利用実績なし	
					評価指標 開放回数									
					平成25年度の評価 A			平成25年度の評価 B						
					地域が必要とする活動の場を提供をしている。			現状では、ほとんど利用実績がないことから、利用促進や開放施設について検討する必要がある。						
市計画<214>	継続	継続	継続	継続									継続	
教育総務課	事業費(千円)	0	10	10									0	
3-10-002	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する							平成25年度実績
学校評議員等 運営支援事業	地域や社会に開かれた学校づくりを推進するため、小・中学校で学校評議員を委嘱し、学校運営等に関して学校との意見交換を行う。また学校関係者評価委員を委嘱し、各学校が教育活動や学校運営等について自己評価した結果について、評価をしてもらうなど、学校が家庭や地域と連携協力しながら、特色ある教育活動の展開を図る。	学校評議員・学校関係者評価委員を委嘱 全体会議を各校で開催	学校評議員・学校関係者評価委員を委嘱 全体会議を各校で開催	学校評議員・学校関係者評価委員を委嘱 全体会議を各校で開催	学校から保護者や地域への情報発信の充実と、保護者、地域要望の教育活動への反映による信頼される学校づくりの推進。			保護者や地域からの意見、要望を反映することが必要である。 保護者や地域から信頼され、期待に応える教育を実現するための学校経営を進める必要がある。					学校評議員・学校関係者評価委員を委嘱 全体会議を各校で開催	
					評価指標 会議開催回数									
					平成25年度の評価 A			平成25年度の評価 A						
					各学校で学校評議員会、学校関係者委員会を開催し、委員との意見交換や、自己評価結果についての評価を行った。			各学校で委員に学校運営の方針や現状について理解をってもらうとともに、委員からの要望や意見交換等を学校運営等に反映している。また学校関係者評価委員に学校経営や学習指導などの自己評価した結果が適切な評価であるかを評価してもらうとともに、改善を進めていく上での助言をいただくなど、も学校と家庭や地域が連携した学校運営を進めていくことができた。						
市計画<215>	継続	継続	継続	継続									継続	
学校教育課	事業費(千円)	276	276	276									276	

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画			期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
					懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
					平成25年度の評価			平成25年度の評価					
3-10-003	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績
コミュニティ・スクールの導入促進に関する調査研究事業	地域に開かれ、支えられる学校づくりの推進が期待されるコミュニティ・スクールの導入を促進するため、文部科学省の指定を受け、試行的に西部地区にコミュニティ・スクールを設置し調査研究を実施する。	学校運営協議会議の運営 講演会の開催 コミュニティ・スクール研究会の開催 及び研修費 継続実施	学校運営協議会議の運営 講演会の開催 コミュニティ・スクール研究会の開催 及び研修費	学校運営協議会議の運営 講演会の開催 コミュニティ・スクール研究会の開催 及び研修費	開かれた学校づくりを目指し保護者、地域、学校が一体となりコミュニティ・スクールの確立を目指す。				学校教育と地域人材をつなぐ拠点となる事が必要。 コミュニティ・スクールを通じ、学力や人間性を育成する。			西部コミュニティ・スクール運営委員会の開催 全国コミュニティ・スクール研究会などへの参加	
					評価指標 会議開催回数								
					平成25年度の評価 A			平成25年度の評価 A					
市計画<353> 学校教育課	継続 事業費(千円)	継続	継続	継続	西部地区にコミュニティ・スクール運営委員会を設置し、学校、家庭、地域との連携連携のあり方について検討を行った。			西部地区の特色を生かしたコミュニティ・スクールの充実を目指し、先進地視察や運営委員会を開催し、検討した。			継続		
		508	508	508							516		

【施策11 教育環境の整備】

- 1 研修機会の充実や適切な教職員評価を通じて、教職員の資質の向上を図ります。
- 2 適正な規模の集団の中で学ぶことができる環境づくりを推進します。
- 3 教育施設の老朽化や、児童生徒数の増減に対応した施設の整備を推進します。
- 4 児童生徒の安全と学習環境の向上に配慮した施設・設備の整備を推進します。
- 5 二学期制や小中一貫教育等の新しい教育システムについて検討を進めます。
- 6 家庭、地域による学校への支援を支える取組みを推進します。
- 7 小・中・高等学校教育等への就学を支援します。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成25年度の評価			平成25年度の評価					

3-11-001	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績		
学校教育団体 活動支援事業	教職員の資質向上と教育内容及び学校経営の充実を図るため、教育関係団体で行う事業費の一部を支援する。	教育研究会、小中学校校長会、小中学校教頭会、進路指導連絡協議会に対する助成	教育研究会、小中学校校長会、小中学校教頭会、進路指導連絡協議会に対する助成	教育研究会、小中学校校長会、小中学校教頭会、進路指導連絡協議会に対する助成	本市における学校教育を振興するため、事業成果を検証しながら継続的な支援を行う。				市内の教職員が一体となり、本市の教育振興についてさまざまな観点から継続的に研究、調査、研修等を行うことは必要である。					教育研究会に助成3,654千円 小中学校校長会に助成400千円 小中学校教頭会に助成300千円 進路指導連絡協議会に助成76千円	
					評価指標 教職員の資質向上										
					平成25年度の評価	A			平成25年度の評価					A	
					各教育関係団体の活動を支援することにより、教育の振興が図られている。			各教育関係団体が、それぞれの立場で調査、研究、研修活動したその成果は、教職員の資質向上や学校経営の充実に活かされている。							
市計画<216>	継続	継続	継続	継続											継続
教育総務課	事業費(千円)	4,430	4,430	4,430											4,430

3-11-002	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績		
教師用指導書 等整備事業	教員に指導書及び教科書を配布し、指導方法の工夫改善及び学力の向上を図る。	平成27年度から使用する小学校前期分の指導書、教師用教科書の配布 小学校用全面改訂 小学校9,329千円 中学校 98千円	平成27年度から使用する小学校後期分及び平成28年度から使用する中学校前期分の指導書、教師用教科書の配布 中学校用全面改訂	平成28年度から使用する中学校後期分の指導書、教師用教科書の配布	使用する教科書の改訂に伴い、各学校へ必要となる指導書等の配布。				学力向上のための指導方法の工夫改善などを行うために、教師用の教科書、指導書は必要不可欠であるが、配布にあたっては、必要最小限に努める必要がある。					小・中学校の教員に教科書及び指導書の補充分配布 小学校123千円 中学校 54千円	
					評価指標 配布実績										
					平成25年度の評価	A			平成25年度の評価					A	
					小中学校教員が使用する教科書及び指導書を補充分配した。			配付にあたっては、学校規模、教員配置等を精査し、配付するとともに、指導方法の工夫・改善が図られた。							
市計画<229>	継続	継続	継続	継続											継続
学校教育課	事業費(千円)	9,427	12,654	4,334											177

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成25年度の評価			平成25年度の評価					

3-11-003	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績	
学校施設空気環境測定事業	シックスクール対策の一環として、「学校環境衛生の基準」に基づき、教室内のホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物について空气中濃度測定を実施し、良好な衛生環境確保に努める。	ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の空气中濃度測定の実施 小学校 383千円 中学校 290千円	ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の空气中濃度測定の実施	ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の空气中濃度測定の実施	「学校環境衛生基準」に基づいた児童生徒の健康及び教育環境の衛生を適切に保持・管理する。				施設整備や日常の維持管理に当たっては、建築課などと連携し、可能な限り化学物質等の抑制に努める必要がある。					各小中学校3教室程度において、ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の空气中濃度測定の実施(8月)
					評価指標			測定実施状況						
					平成25年度の評価			A					A	
					日常的に、学校の環境の把握に努め、改善を行っている。			日常的に、児童生徒の健康状況、学校環境の把握に努め、改善を行った。						
市計画<240>	継続	継続	継続	継続						継続				
教育総務課	事業費(千円)	673	681	681						531				

3-11-004	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績	
学校事務機器整備事業	学校事務の効率化と学校経営の円滑化を図るため、必要となる事務機器を整備する。	大型事務機器保守、修繕、購入 小学校1,659千円 中学校1,060千円	大型事務機器保守、修繕、購入	大型事務機器保守、修繕、購入	学校事務の効率化を図り、学校経営を円滑に実施するため、教育活動上必要な事務機器の保守、修繕、更新を行う。				校務事務の効率化、円滑化を図るため、老朽化した大型の事務機器を計画的に更新していく必要がある。					大型事務機器保守及び修繕 大型事務機器(印刷機)の購入
					評価指標			保守・整備状況						
					平成25年度の評価			A					A	
					適切な保守、修繕や計画的な機器の更新により、事務の効率化を図った。			適切な保守、修繕や計画的な機器の更新により、事務の効率化を図った。						
市計画<218>	継続	継続	継続	継続						見直し				
教育総務課	事業費(千円)	2,719	2,730	2,730						1,694				

3-11-005	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績	
学校放送設備整備事業	教育活動の充実を図るため、老朽化した放送、視聴覚設備を時代に合った機器に整備する。	学校放送設備の更新は行わない	学校放送設備の更新	学校放送設備の更新	児童生徒の学習意欲の向上、教育の質の向上を図るため、放送、視聴覚教育に必要な機器、設備の更新を図る。				放送設備の老朽化委に伴い、学校放送、視聴覚機能の低下を招かないよう更新する必要がある。					該当なし
					評価指標			デジタル放送実施、更新整備校数						
					平成25年度の評価			-					-	
					該当なし			該当なし						
市計画<231>	継続	継続	継続	継続						継続				
教育総務課	事業費(千円)	0	20,000	20,000						0				

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成25年度の評価			平成25年度の評価					

3-11-006	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績	
理科教材等整備事業	理科教育で必要となる教材教具を、小中学校に購入・更新し、教育の充実を図る。(各校2年に1回)	各小中学校に理科教材等の購入・更新 小学校1,694千円 中学校1,578千円	各小中学校に理科教材等の購入・更新	各小中学校に理科教材等の購入・更新	理科における観察、実験教育の質を向上するために必要な教材教具の整備。			理科教育においては、授業時数、指導内容が増加し、観察、実験を重視するものとなっていることから、実験機器などの多くの教材が必要であり、整備することは必要である。						小学校4校(東部、西部、大曲、西の里) 中学校3校(東部、大曲、陽香)に理科教材を整備
					評価指標	文部科学省の整備目標達成率								
					平成25年度の評価	A					A			
					新学習指導要領に対応した理科教材を整備した。					理科教育の充実を図るため、文科省の整備時準を目標に補助金を活用した教材の整備を行った。今後も継続して整備を行う。				
市計画<217>	継続	継続	継続	継続						継続				
教育総務課	事業費(千円)	3,272	3,272	3,272						3,263				

3-11-007	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績	
学校施設管理機器整備事業	良好な教育環境を維持するために必要な草刈機、除雪機などの管理機器の保守管理及び修繕を行うとともに、耐用年数を経過した機器を更新する。	草刈機、除雪機の保守管理及び修繕 小学校245千円 中学校190千円	草刈機、除雪機の保守管理及び修繕 耐用年数の経過した草刈機の更新 除雪機の購入	草刈機、除雪機の保守管理及び修繕 耐用年数の経過した草刈機の更新 除雪機の購入	児童生徒の学習環境を良好かつ適切に保持・管理するため、管理機器の日常的な保守、管理。			教育的な視点から学校施設の状態整備は重要であり、効率的に実現するため、適切な管理機器の保守管理や計画的に更新を行うことは必要である。学校業務主事が効率的に業務を行うための学校環境整備も重要である。						草刈機、除雪機の保守管理及び修繕 耐用年数の経過した除雪機のメンテナンスを実施
					評価指標	保守・整備状況								
					平成25年度の評価	A					A			
					良好な教育環境の整備、学校業務主事の効率的な作業を実施することができた。					草刈機、除雪機の維持管理、修繕を行うことで良好な教育環境を整備できた。				
市計画<222>	継続	継続	継続	継続						見直し				
教育総務課	事業費(千円)	435	1,100	1,100						860				

3-11-008	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績	
双葉小学校校舎・講堂防音機能復旧事業	温度保持換気設備機器等(暖房機、空調機、送風機等)の老朽化により、本来の機能が低下し、良好な教育環境が阻害されるため、設備機器を新機種に更新して防音機能を復旧する。	H25事業終了			良好な教育環境を維持するための設備機器の更新。			良好な教育環境を維持するため、温度保持換気設備機器等(暖房機、空調機、送風機等)を更新する必要がある。						温度保持換気設備機器等更新工事
					評価指標	進捗率								
					平成25年度の評価	A					A			
					良好な教育環境を維持するための暖房機等の更新工事を行った。					良好な教育環境を維持するため、暖房機等の更新工事を行った。				
市計画<234>	終了	終了								継続				
教育総務課	事業費(千円)									45,780				

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成25年度の評価			平成25年度の評価					

3-11-009	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績	
北の台小学校 校舎屋体大規模 改造・屋体 地震補強事業	建築後37年以上経過しており、外壁や屋根面等老朽化が顕著なため、内外部の大規模改造工事に併せて、地震補強工事、非構造部材の耐震化工事、トイレ等の改修工事を実施する。	(屋体)線越明許費<125,790千円>地震補強工事 非構造部材耐震化大規模改造工事 工事監理 (校舎) エレベーター設置工事 工事監理	(校舎) 大規模改造工事 工事監理	H27事業終了	良好な教育環境を維持するための校舎屋体大規模改造及び屋体地震補強工事。			良好な教育環境を維持するため、校舎屋体大規模改造、屋体地震補強工事を行う必要がある。						校舎・屋体：大規模改造工事実施設計 屋体：地震補強工事実施設計
					評価指標 進捗率									
					平成25年度の評価 A			平成25年度の評価 A						
					良好な教育環境を維持するため、校舎及び屋体の大規模改造工事等を実施するための実施設計を行った。			良好な教育環境を維持するため、校舎及び屋体の大規模改造工事等を実施するための実施設計を行った。						
市計画<226>	継続	継続	継続	終了									見直し	
教育総務課	事業費(千円)	162,130	268,900										7,586	

3-11-010	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績	
緑陽中学校校 舎・屋体地震 補強・大規模 改造事業	建築後36年以上経過しており、外壁や屋根面等老朽化が顕著なため、校舎棟の大規模改造工事に併せて、耐震化の必要な体育館の地震補強工事、非構造部材の耐震化工事、大規模改造工事を実施する。	屋体実施設計(地震補強・非構造部材)	屋体地震補強・非構造部材耐震化工事 工事監理	校舎・屋体実施設計委託(大規模改造)	良好な教育環境を維持するための校舎屋体大規模改造及び屋体地震補強工事。			良好な教育環境を維持するため、校舎屋体大規模改造、屋体地震補強工事を行う必要がある。						該当なし
					評価指標 進捗率									
					平成25年度の評価 -			平成25年度の評価 -						
					該当なし			該当なし						
市計画<236>	継続	見直し	継続	継続									継続	
教育総務課	事業費(千円)	1,500	34,000	13,400									0	

3-11-011	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績	
東部中学校工 レベーター設 備等設置事業	肢体不自由な生徒が就学に支障をきたさない学校環境の整備のため、エレベーターを設置する。	エレベーター設備等設置工事 工事監理	H26事業終了		良好な教育環境を維持するためのエレベーター設置工事。			良好な教育環境を維持するため、エレベーター設置工事を行う必要がある。						実施設計委託
					評価指標 進捗率									
					平成25年度の評価 A			平成25年度の評価 A						
					良好な教育環境を維持するため、校舎にエレベーターを設置するための実施設計を行った。			良好な教育環境を維持するため、校舎にエレベーターを設置するための実施設計を行った。						
市計画<260>	継続	継続	終了										継続	
教育総務課	事業費(千円)	33,180											1,260	

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成25年度の評価			平成25年度の評価					

3-11-012	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する					平成25年度実績
広葉中学校校舎・講堂防音機能復旧事業	温度保持換気設備機器等（暖房機、空調機、送風機等）の老朽化により、本来の機能が低下し、良好な教育環境が阻害されるため、設備機器を新機種に更新して防音機能を復旧する。	実施設計	防音機能復旧工事 工事監理	H27事業終了	良好な教育環境を維持するための設備機器の更新。			良好な教育環境を維持するため、温度保持換気設備機器等（暖房機、空調機、送風機等）を更新する必要がある。				該当なし
					評価指標 進捗率							
					平成25年度の評価	-		平成25年度の評価			-	
市計画<238>	継続	継続	継続	終了	該当なし			該当なし				継続
教育総務課	事業費(千円)	2,700	106,997									0

3-11-013	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する					平成25年度実績
東部小学校講堂防音機能復旧事業	温度保持換気設備機器等（暖房機、空調機、送風機等）の老朽化により、本来の機能が低下し、良好な教育環境が阻害されるため、設備機器を新機種に更新して防音機能を復旧する。		実施設計	防音機能復旧工事 工事監理	良好な教育環境を維持するための設備機器の更新。			良好な教育環境を維持するため、温度保持換気設備機器等（暖房機、空調機、送風機等）を更新する必要がある。				該当なし
					評価指標 進捗率							
					平成25年度の評価	-		平成25年度の評価			-	
市計画<271>	継続		見直し	継続	該当なし			該当なし				継続
教育総務課	事業費(千円)		1,089	21,362								0

3-11-014	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する					平成25年度実績
緑ヶ丘小学校校舎・講堂防音機能復旧事業	温度保持換気設備機器等（暖房機、空調機、送風機等）の老朽化により、本来の機能が低下し、良好な教育環境が阻害されるため、設備機器を新機種への更新工事を実施する。	実施設計	防音機能復旧工事 工事監理	H27事業終了	良好な教育環境を維持するための設備機器の更新。			良好な教育環境を維持するため、温度保持換気設備機器等（暖房機、空調機、送風機等）を更新する必要がある。				該当なし
					評価指標 進捗率							
					平成25年度の評価	-		平成25年度の評価			-	
市計画<275>	継続	見直し	継続		該当なし			該当なし				継続
教育総務課	事業費(千円)	2,730	77,605									0

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成25年度の評価			平成25年度の評価					

3-11-015	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績	
学校施設非構造部材耐震化事業 【新規】	屋内体育館において、大規模改造工事の対象とならない小中学校8校(東部小、西部小、大曲小、西の里小、双葉小、緑ヶ丘小、西部中、広葉中の8校)について、目視点検等の結果を踏まえて天井等落下防止対策等(吊り天井、照明器具、バスケットゴール等)を行う。		実施設計	非構造部材の耐震化工事 工事監理	良好な教育環境維持するための屋内体育館の非構造部材の耐震化を図る。			良好な教育環境を維持するため、屋内体育館の非構造部材の耐震化を図る必要がある。						/
					評価指標 進捗率					/				
					平成25年度の評価									
市計画<360>	新規		新規	継続										
教育総務課	事業費(千円)		6,900	123,000										

3-11-016	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績	
屋体大規模改造・非構造部材耐震化事業 【新規】	大規模改造工事を実施していない築20年以上経過している屋内体育館の4校(大曲中、西の里中、東部中、大曲東小)について、老朽化も進んでいることから大規模改造工事と併せて非構造部材の耐震化工事(吊り天井、照明器具、バスケットゴール等)を実施する。	実施設計	大規模改造工事 非構造部材耐震化工事 工事監理	H27事業終了	良好な教育環境を維持するための屋内体育館の大規模改造及び非構造部材の耐震化を図る。			良好な教育環境を維持するため、屋内体育館の大規模改造及び非構造部材の耐震化を図る必要がある。						/
					評価指標 進捗率					/				
					平成25年度の評価									
市計画<361>	新規	新規	継続											
教育総務課	事業費(千円)	13,400	439,600											

3-11-017	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績	
北の台小学校講堂防音機能復旧事業 【新規】	平成9年度に更新した温度保持換気設備機器類の再更新を実施する。			実施設計委託	良好な教育環境を維持するための設備機器の更新。			良好な教育環境を維持するため、温度保持換気設備機器等(暖房機、空調機、送風機等)を更新する必要がある。						/
					評価指標 進捗率					/				
					平成25年度の評価									
市計画<362>	新規			新規										
教育総務課	事業費(千円)			0										

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成25年度の評価			平成25年度の評価					

3-11-018	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績		
東部中学校校舎大規模改造事業 【新規】	建築後24年以上が経過し、老朽化が顕著なため、校舎棟の大規模改造工事を実施する。	実施設計		大規模改造工事 工事監理	良好な教育環境維持するための校舎大規模改造工事。			良好な教育環境を維持するため、校舎の大規模改造工事を行う必要がある。						/	
					評価指標	進捗率									
					平成25年度の評価	平成25年度の評価									
市計画<257>	新規	新規	継続	継続											
教育総務課	事業費(千円)	9,700		334,600											

3-11-019	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績		
大曲東小学校講堂防音機能復旧事業 【新規】	温度保持換気設備機器等(暖房機、空調機、送風機等)の老朽化により、本来の機能が低下し、良好な教育環境が阻害されるため、設備機器を新機種に更新して防音機能を復旧する。		実施設計	防音機能復旧工事 工事監理	良好な教育環境を維持するための設備機器の更新。			良好な教育環境を維持するため、温度保持換気設備機器等(暖房機、空調機、送風機等)を更新する必要がある。						/	
					評価指標	進捗率									
					平成25年度の評価	平成25年度の評価									
市計画<276>	新規		新規	新規											
教育総務課	事業費(千円)		1,111	30,796											

3-11-020	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績		
大曲東小学校校舎大規模改造事業 【新規】	平成3年度に建築され、老朽化が顕著であるため、校舎の大規模改造工事を実施する。			実施設計委託	良好な教育環境維持するための校舎屋体大規模改造工事。			良好な教育環境を維持するため、校舎屋体大規模改造工事を行う必要がある。						/	
					評価指標	進捗率									
					平成25年度の評価	平成25年度の評価									
市計画< >	新規			新規											
教育総務課	事業費(千円)			0											

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画			期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
					懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
					平成25年度の評価			平成25年度の評価					

3-11-021	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績	
西の里中学校 校舎防音機能 復旧事業 【新規】	平成8年度に更新した温度保持換気設備機器類の再更新を実施する。			実施設計委託	良好な教育環境を維持するための設備機器の更新。			良好な教育環境を維持するため、温度保持換気設備機器等（暖房機、空調機、送風機等）を更新する必要がある。						/
					評価指標 進捗率									
					平成25年度の評価			平成25年度の評価						
市計画< >	新規			新規										
教育総務課	事業費(千円)			0										

3-11-022	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績	
西の里小学校 校舎防音機能 復旧事業 【新規】	平成6年度に更新した温度保持換気設備機器類の再更新を実施する。			実施設計委託	良好な教育環境を維持するための設備機器の更新。			良好な教育環境を維持するため、温度保持換気設備機器等（暖房機、空調機、送風機等）を更新する必要がある。						/
					評価指標 進捗率									
					平成25年度の評価			平成25年度の評価						
市計画< >	新規			新規										
教育総務課	事業費(千円)			0										

3-11-023	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績	
東部中学校講 堂防音機能復 旧事業 【新規】	温度保持換気設備機器等（暖房機、空調機、送風機等）の老朽化により、本来の機能が低下し、良好な教育環境が阻害されるため、設備機器を新機種に更新して防音機能を復旧する。		実施設計	防音機能復旧工事 工事監理	良好な教育環境を維持するための設備機器の更新。			良好な教育環境を維持するため、温度保持換気設備機器等（暖房機、空調機、送風機等）を更新する必要がある。						/
					評価指標 進捗率									
					平成25年度の評価			平成25年度の評価						
市計画<369>	新規		新規	継続										
教育総務課	事業費(千円)		1,111	30,796										

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成25年度の評価			平成25年度の評価					

3-11-024	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績
大曲中学校北 校舎棟大規模 改造事業 [新規]	建築後42年以上が経過し、老朽化が顕著なため、北校舎棟の大規模改造工事を実施する。	実施設計	大規模改造工事 工事監理	H27事業終了	良好な教育環境維持するための校舎大規模改造工事。			良好な教育環境を維持するため、校舎大規模改造工事を行う必要がある。					/
					評価指標 進捗率								
					平成25年度の評価			平成25年度の評価					
市計画<370>	新規	新規	継続										
教育総務課	事業費(千円)	1,927	66,000										

3-11-025	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	創る	広げる	改善する						平成25年度実績
学校支援地域 本部事業	学校を地域全体で支える体制を整えていくため学校支援地域本部を設立し、地域住民等の参画による学校支援を推進する。「学校支援コーディネーター」による学校における地域学習の支援、専門性を有する「授業補助員」の配置による指導の充実、地域の方がもつ優れた知識・技術を生かす「学校支援ボランティア」の活用を行う。	学校支援地域本部の設置 学校支援コーディネーターの配置 運営委員会、地域教育協議会の開催 学校支援ボランティア運営経費の助成 授業補助員の配置(200時間×16校)	学校支援地域本部の設置 学校支援コーディネーターの配置 運営委員会、地域教育協議会の開催 学校支援ボランティア運営経費の助成 授業補助員の配置(200時間×16校)	学校支援地域本部の設置 学校支援コーディネーターの配置 運営委員会、地域教育協議会の開催 学校支援ボランティア運営経費の助成 授業補助員の配置(200時間×16校)	地域が学校を支援する仕組みを見直し、学校の負担を軽減するとともに、事業の効率性と有効性を高める。			学校と地域が一体となって教育力の向上を目指すことは重要。生涯学習振興会の協力を得て実施。地域のボランティア活動の活性化も助長する。					平成25年度実績 2本部体制においてそれぞれにコーディネーターを配置。 学校支援ボランティア15校 授業補助員活用16校2,300時間
					評価指標 取組み件数、ボランティア登録件数								
					平成25年度の評価 A			平成25年度の評価 A					
市計画<317>	継続	継続	継続	継続	学校を支援する体制が定着してきている。			学校、地域ともに事業に対する理解が深まってきている。					統合・拡大
社会教育課	事業費(千円)	7,935	8,002	8,002									7,063

3-11-026	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績
児童生徒の通 学費支援事業	保護者の経済的負担の軽減を図るため、遠距離通学等で、公共交通機関を利用して市立小中学校に通学している児童・生徒及び自家用車による送迎を常としている児童・生徒の保護者に対し、通学に要する経費の一部を助成する。	対象児童生徒の保護者に通学費の一部を助成 小学校 2,397千円 中学校 313千円	対象児童生徒の保護者に通学費の一部を助成	対象児童生徒の保護者に通学費の一部を助成	遠距離通学に要する経費を支援し、平等に教育を受ける機会を確保。			遠距離通学に要する経費の経済的負担の軽減を図ることが必要である。					平成25年度実績 対象児童生徒の保護者に通学費の一部を支援 小学校 315件2,010千円 中学校 26件283千円
					評価指標 支援件数								
					平成25年度の評価 A			平成25年度の評価 A					
市計画<220>	継続	継続	継続	継続	申請のあった遠距離児童生徒の保護者に通学費の一部を支援した。			通学費の一部を援助することにより、保護者の経済的負担の軽減が図られている。					継続
学校教育課	事業費(千円)	2,710	2,809	2,809									2,293

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成25年度の評価			平成25年度の評価					

3-11-027	事業内容 市内に住所を有し高等学校等に入学した生活困窮世帯の生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、入学時に必要となる経費の一部として、入学準備金を支援する。	平成26年度 入学準備金の支給	平成27年度 入学準備金の支給	平成28年度 入学準備金の支給	めざす 続ける 点検する 高等学校等へ入学する生徒の入学時に必要となる経費の一部を支援することによる保護者の経済的負担の軽減。	経済的な理由により就学が困難な生徒に対し、入学時に必要な経費の一部を支援することは、家庭状況に関わらず平等に教育を受ける権利、学習意欲の向上を図る上で必要である。	平成25年度実績 入学準備金を110名に支給
市計画<232>	継続	継続	継続	継続	評価指標 支援件数 平成25年度の評価 A	平成25年度の評価 A	継続
学校教育課	事業費(千円)	2,800	2,800	2,800	生活困窮世帯で高等学校等へ入学した生徒へ2万円の準備金を支給し、保護者の経済的負担の軽減が図られた。	保護者の経済的負担の軽減が図られるとともに、家庭状況に関わらず平等に教育を受ける権利の保障が図られている。	2,200

3-11-028	事業内容 要保護・準要保護児童生徒援助事業 生活保護世帯(要保護)や経済的困窮世帯(準要保護)の児童・生徒に対し、就学に必要な経済的援助を行うことで、平等に義務教育を受ける権利を保障する。	平成26年度 学用品費・修学旅行費・給食費・医療費等の援助 小学校64,657千円 中学校50,365千円	平成27年度 学用品費・修学旅行費・給食費・医療費等の援助	平成28年度 学用品費・修学旅行費・給食費・医療費等の援助	めざす 続ける 点検する 就学に必要な学用品費等を援助することによる平等に教育を受ける機会を確保と保護者の経済的負担の軽減。	経済的な理由により就学が困難な児童生徒に対し、必要な経費を援助することは、家庭状況に関わらず平等に教育を受ける権利、学力向上を図る上で必要である。	平成25年度実績 学用品費・修学旅行費・給食費・医療費等の援助 小学校 791名 59,500千円 中学校 426名 46,000千円
市計画<221>	継続	継続	継続	継続	評価指標 支援件数 平成25年度の評価 A	平成25年度の評価 A	継続
学校教育課	事業費(千円)	115,022	107,188	107,188	義務教育を受ける上で必要となる経費について、援助し、保護者の経済的負担の軽減を図った。	保護者の経済的負担の軽減が図られるとともに、家庭状況に関わらず平等に教育を受ける権利の保障が図られている。	105,500

3-11-028-1	事業内容 要保護・準要保護児童生徒援助事業 [拡大] 就学援助費目に「クラブ活動費」「生徒会費」「PTA会費」を追加して援助を行う。	平成26年度 クラブ活動費、生徒会費、PTA会費の援助費目の援助 小学校 1,991千円 中学校11,627千円	平成27年度 クラブ活動費、生徒会費、PTA会費の援助費目の援助	平成28年度 クラブ活動費、生徒会費、PTA会費の援助費目の援助	めざす 続ける 点検する 準要保護の児童・生徒に対し、クラブ活動費、生徒会費、PTA会費を就学援助の支給項目を追加による保護者の経済的負担の軽減。	経済的な理由により就学が困難な児童生徒に対し、必要な経費を援助することは、家庭状況に関わらず平等に教育を受ける権利、学力向上を図る上で必要である。	平成25年度実績
市計画<343>	拡大	拡大	継続	継続	評価指標 支援件数 平成25年度の評価	平成25年度の評価	
学校教育課	事業費(千円)	13,618	14,072	14,072			

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成25年度の評価			平成25年度の評価					

3-11-029	事業内容 奨学金支給事業 経済的な理由によって高等学校等の就学困難な学生及び生徒に対し、学資の一部を支給することにより、等しく教育を受ける機会を与える。	平成26年度 選考された奨学生に対し、奨学金を支給90名	平成27年度 選考された奨学生に対し、奨学金を支給90名	平成28年度 選考された奨学生に対し、奨学金を支給90名	めざす 高等学校等の就学に必要な学資等の一部として奨学金を支給することによる保護者への経済的負担の軽減。	続ける	点検する					平成25年度実績 選考された奨学生に対し、奨学金を支給 申請133名 支給89名 支給額5,295千円 基金積立800千円 (寄附金)
市計画<233>	継続	継続	継続	継続	評価指標 奨学金支給人数/申請者人数			平成25年度の評価 A		平成25年度の評価 A		継続
学校教育課	事業費(千円)	5,400	5,400	5,400	選考委員会で選考された者に奨学金を支給し経済的軽減を図れた。			経済的な理由により就学が困難な生徒に対し、学費等の経費の一部を支援することで、就学の一助となっている。		5,295		

3-11-029-1	事業内容 奨学金支給事業 [拡大] 経済的な理由によって高等学校等の就学困難な学生及び生徒に対し、学資の一部を支給することにより、等しく教育を受ける機会を与える。	平成26年度 選考された奨学生に対し、奨学金を支給10名拡大	平成27年度 選考された奨学生に対し、奨学金を支給10名拡大	平成28年度 選考された奨学生に対し、奨学金を支給10名拡大 基金積立	めざす 高等学校等の就学に必要な学資等の一部として奨学金を支給することによる保護者への経済的負担の軽減。	続ける	点検する					平成25年度実績
市計画< >	拡大	拡大	継続	拡大	評価指標 奨学金支給人数/申請者人数			平成25年度の評価		平成25年度の評価		
学校教育課	事業費(千円)	0	0	0	選考委員会で選考された者に奨学金を支給し経済的軽減を図れた。			経済的な理由により就学が困難な生徒に対し、学費等の経費の一部を支援することで、就学の一助となっている。				

3-11-030	事業内容 私立学校教育振興事業 教育環境の充実を図るため、市内に本校を有する私立高等学校が行う教育活動を支援する。	平成26年度 市内に開校している札幌日大高校に対する助成	平成27年度 市内に開校している札幌日大高校に対する助成	平成28年度 市内に開校している札幌日大高校に対する助成	めざす 市内に開校している、札幌日大高校に対し補助金を交付する。	拓げる	改善する					平成25年度実績 日大高校に補助金を助成し、私学の振興と、保護者の負担軽減に寄与した。
市計画<309>	継続	継続	継続	継続	評価指標 補助金の活用状況			平成25年度の評価 A		平成25年度の評価 A		継続
教育総務課	事業費(千円)	1,350	1,350	1,350	札幌日大高校の特色ある教育活動の振興に寄与した。			札幌日大高校の特色ある教育活動に寄与するとともに保護者の負担軽減が図られたが、より特色をもった教育が図られるよう支援の拡大が必要である。		1,350		

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成25年度の評価			平成25年度の評価					

3-11-101	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績	
義務教育施設整備基金利息積立 (教育振興経費)	義務教育施設整備基金の利息を積立	基金利息積立	基金利息積立	基金利息積立	市の教育施策を継続し、着実に進める。				小中学校の新增築及び用地取得を図り、教育環境を整備・充実するために必要である。					基金利息積立
					評価指標	基金残高								
					平成25年度の評価	A					A			
経常経費	継続	継続	継続	継続	小中学校の新增築及び用地取得を図り、教育環境を整備・充実するために積立てを行った。					継続				
教育総務課	事業費(千円)	157	200	200						53				

3-11-102	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績	
小学校管理経費 (小学校管理経費)	施設維持管理用 消耗品・修繕料・光熱水費・燃料費・手数料・委託料・借上料ほか	施設の維持管理 経常分 108,248千円 臨時分 7,716千円 管繕 1,104千円	施設の維持管理	施設の維持管理	学校教育施設の管理、維持のため経費の節減をしながら、効果的に支出する。				学校に配分する経常的な経費については維持し、光熱水費等ランニングコストについては、各学校に節減喚起をし取り組んでもらう。					施設の維持管理経費
					評価指標									
					平成25年度の評価	A					A			
経常経費	継続	継続	継続	継続	経費の節減に努めるよう、各校に通達し、効果を上げている。					継続				
教育総務課	事業費(千円)	117,068	108,248	110,253						107,305				

3-11-103	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績	
中学校管理経費 (中学校管理経費)	施設維持管理用 消耗品・修繕料・光熱水費・燃料費・手数料・委託料・借上料ほか	施設の維持管理 経常分 91,750千円 臨時分 2,030千円 管繕 6,912千円	施設の維持管理	施設の維持管理	学校教育施設の管理、維持のため経費の節減をしながら、効果的に支出する。				学校に配分する経常的な経費については維持し、光熱水費等ランニングコストについては、各学校に節減喚起をし取り組んでもらう。					施設の維持管理経費
					評価指標									
					平成25年度の評価	A					A			
経常経費	継続	継続	継続	継続	経費の節減に努めるよう、各校に通達し、効果を上げている。					継続				
教育総務課	事業費(千円)	100,692	91,750	93,450						100,692				

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成25年度の評価			平成25年度の評価					

3-11-104	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	備える	整える	改善する					平成25年度実績		
中学校教育振興経費(学校教育課分) (中学校教育振興経費)	平成24年度から中学校の音楽科で必修となる和楽器指導に必要な楽器(箏)を借上げる。	和楽器(箏)の借上げ (20面×6校)	和楽器(箏)の借上げ (20面×6校)	和楽器(箏)の借上げ (20面×6校)	新たに指導内容として導入される中学校和楽器の指導に必要な楽器(箏)を整備する。			新たに中学校の授業に導入される和楽器の指導を行うための備品整備は必要である。教科担任の資質向上を図るだけでなく、専門的指導者など地域の人材による協力が必要である。					和楽器指導に必要な楽器(箏)を借上	
					評価指標									
					平成25年度の評価			A		平成25年度の評価			A	
					中学校の音楽科で必修となる和楽器指導に必要な楽器(箏)を借上げ			中学校の音楽科で必修となる和楽器指導に必要な楽器(箏)を借上げし、円滑に指導が行なわれている。					継続	
経常経費	継続	継続	継続	継続								継続		
学校教育課	事業費(千円)	571	571	571								435		

3-11-105	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	備える	続ける	改善する					平成25年度実績		
教育環境研究事業 (教育振興経費)	新しい教育システムによる魅力ある教育活動が行なわれる学校づくり、質の高い学びを支える環境づくりなど、社会の変化や実態にあった教育環境の整備に取り組んでいくため、調査研究や教育実践を行う。	教育環境研究検討会(小中連携教育)の開催 実践校による調査研究	教育環境研究検討会(小中連携教育)の開催 実践校による調査研究	教育環境研究検討会(小中連携教育)の開催 実践校による調査研究	社会の変化に対応した学校教育の推進を検討し、質の高い教育環境を提供。			小中連携教育においては、義務教育9年間で小中が協働と連携を意識し、教育課程の連携や連続性のある指導体制を確立することが必要である。					各中学校区ごとに連携協議会を開催	
					評価指標			小中連携教育等の進捗状況						
					平成25年度の評価			A		平成25年度の評価			A	
					各中学校での小中連携教育の検討を行った。			各中学校区で連携協議会を開催し、9年間を通じた教育課程や行事等の検討などを実施した。					継続	
経常経費	継続	継続	継続	継続								継続		
学校教育課	事業費(千円)	0	0	0								0		

3-11-106	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する					平成25年度実績		
奨学生選考委員会 (教育振興経費)	奨学生を選考するため、奨学生選考委員会を開催する。 選考委員7名	奨学生選考委員会の開催	奨学生選考委員会の開催	奨学生選考委員会の開催	奨学生を選考するため、選考委員会に奨学生の選考について諮問し、答申をもらう。			選考にあたり、客観性、透明性を確保するため、教育行政に関して専門的な知識を有する者による審議は必要である。					奨学生選考委員会の開催(4月)	
					評価指標			開催回数						
					平成25年度の評価			A		平成25年度の評価			A	
					選考委員会を開催し、奨学生90名を選考した。			教育行政に関して専門的な知識を有する者による審議により、客観性、透明性が図られた選考が図られている。					継続	
経常経費	継続	継続	継続	継続								継続		
学校教育課	事業費(千円)	28	28	28								18		

政策4 学びあい、教えあう社会教育の推進

施策12 市民の学習活動への支援内容の充実

施策13 地域や世代を見据えた学習機会の充実

施策14 施設の充実による学習環境の整備

【施策12 市民の学習活動への支援内容の充実】

- 1 市民の学習活動に対する意欲に応えるため身近な学習機会の充実に努め、学びを通したコミュニティづくりに向け、市民が主体的に取り組む学習活動を支援します。
- 2 社会教育関係団体や市民の主体的な学習活動に対し、団体が自ら個性ある活動を継続するための人材育成や団体運営に対する支援の充実を図るとともに、学んだ成果を生かす機会や相互に交流する場を提供します。
- 3 市内のそれぞれの地域が、個性豊かに地域の実情にあった学習活動を展開できるよう、市民と行政との協働による活動を推進します。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成25年度の評価			平成25年度の評価					

4-12-001	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	改善する						平成25年度実績	
生涯学習市民活動団体支援事業	生涯学習の振興を図るため、市民団体が主体的に企画実施する生涯学習に関する事業への支援を行い、市民に多様な学習機会を提供するとともに、生涯学習に取り組む団体を育成する。	市民団体が企画した講座・発表会・コンサート等に対する助成	市民団体が企画した講座・発表会・コンサート等に対する助成	市民団体が企画した講座・発表会・コンサート等に対する助成	市民参加を促す事業として、継続的に支援を行っていくため、市民ニーズを捉え、事業内容の改善を行っていく。			生涯学習に関する事業を自ら企画・実施し、広く市民に発表する取組みを支援することは、生涯学習の振興並びにまちづくりの市民参加につながる。						市民が主体的に開催した事業への助成 助成事業数8団体
					評価指標 支援団体数			平成25年度の評価						
					平成25年度の評価 A			平成25年度の評価 A						
市計画<258>	継続	継続	継続	継続	市民の主体的な活動を効果的に推進するため、事業内容を検証した。			市民活動の成果が、多くの市民に上げられるよう、事業への適切な支援を継続する。					継続	
社会教育課	事業費(千円)	1,500	1,500	1,500									1,487	

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成25年度の評価			平成25年度の評価					

4-12-002	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	創る	拡げる	改善する					平成25年度実績
元気フェスティバル連携事業	市民団体の交流や学習した成果を生かす場として、また、市民に生涯学習に関する興味・関心を深めてもらうため、実行委員会を組織し、元気フェスティバルを開催する。	「元気フェスティバルinきたひろしま」の開催	「元気フェスティバルinきたひろしま」の開催	「元気フェスティバルinきたひろしま」の開催	生涯学習をテーマに市民主体で創造し、交流する事業は少なく、さらなる拡充を目指す。			生涯学習活動の発表の場、異分野の交流の場として重要。 市民が主体となって取り組む実行委員会形式で実施。				「元気フェスティバルinきたひろしま」の開催 国民健康保険加入者割合で按分支援割合75%に見直し参加 65団体 参加者4,000名
市計画<259>	継続	継続	継続	継続	評価指標 来場者数			平成25年度の評価 A	平成25年度の評価		A	見直し
社会教育課	事業費(千円)	675	675	675	市民の主体的な活動を助長し、活動成果の発表機会となっている。			実行委員会で、内容を協議することから、主体的な取組みとなっている。			675	

4-12-003	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	創る	拡げる	改善する					平成25年度実績
生涯学習振興会支援事業	生涯学習の振興や地域づくり・コミュニティ活動の要として、各地区に設立された住民主導の組織「生涯学習振興会」を支援する。	西部・西の里・大曲・東部地区の生涯学習振興会に対する助成 各地区に生涯学習推進アドバイザーや事務職員を配置	西部・西の里・大曲・東部地区の生涯学習振興会に対する助成 各地区に生涯学習推進アドバイザーや事務職員を配置	西部・西の里・大曲・東部地区の生涯学習振興会に対する助成 各地区に生涯学習推進アドバイザーや事務職員を配置	市街地が分散している本市の特徴を生かした他市に例のない事業である。未設置地域へ設置し、本事業を拡大する。			地域の生涯学習の振興にとって中心となる組織。 地域コミュニティの醸成にも貢献する組織で、学校支援、子育て支援など、様々な展開が可能。 市民参加が活発に行われている組織				西部・西の里・大曲・東部の各地区振興会にそれぞれ事務職員を配置し事業費を助成。 生涯学習推進アドバイザー4名任用。
市計画<313>	継続	継続	継続	継続	評価指標 事業数、事業参加者数			平成25年度の評価 A	平成25年度の評価		A	継続
社会教育課	事業費(千円)	17,932	18,304	18,304	各振興会で開催されている事業は、地域で定着し、成果をあげている。			各振興会において、地域の特性を生かした事業が実施されており、地域のコミュニティづくりに寄与している。			16,448	

4-12-003-1	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	創る	拡げる	改善する					平成25年度実績
生涯学習振興会支援事業 [拡大]	生涯学習の振興や地域づくり・コミュニティ活動の要として、新たに北広島団地地区に設立される住民主導の組織「生涯学習振興会」に、生涯学習推進アドバイザー及び事務職員を配して支援する。		北広島団地地区生涯学習振興会に助成 アドバイザー及び事務職員の増員	北広島団地地区生涯学習振興会に助成 アドバイザー及び事務職員の増員	市街地が分散している本市の特徴を逆に生かした、希有な事業。未設置地域へ設置し、本事業を拡大。			地域の生涯学習の振興にとって中心となる組織。 地域コミュニティの醸成にも貢献する組織で、学校支援、子育て支援など、様々な展開が可能。 市民参加が活発に行われている組織				
市計画< >	拡大		拡大	継続	評価指標 事業数、事業参加者数			平成25年度の評価	平成25年度の評価			
社会教育課	事業費(千円)		0	0								

【施策13 地域や世代を見据えた学習機会の充実】

- 1 各世代別での学習ニーズに応え、産・学・官・民の連携を図り、多様で豊かな学習機会や交流機会の提供を推進します。
- 2 社会の要請や個人の多様な学習ニーズに対応するため、実情に合った学習機会の提供を推進します。
- 3 市民の多様な学習ニーズに的確に対応することや、主体的な学習活動を支援するため、教育情報提供システム「学び舎・楓」の充実に努め、学習活動への効果的な支援を促進します。
- 4 市民の主体的な学習をサポートするため、IT予約システムなどにより、社会教育施設や公共施設のネットワーク化を図ります。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成25年度の評価			平成25年度の評価					

4-13-001	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	改善する						平成25年度実績	
国際交流事業	海外とのさまざまな交流により、生きた外国の文化、風俗、社会事情を体得し、異文化への理解を深め、広い国際的視野と豊かな国際感覚をもった人材を育てるため、高校生を対象にカナダ・サスカトゥーン市との相互交流や国際交流パネル展、市民交流事業などを実施する国際交流協議会を支援する。	国際交流協議会が実施するカナダ・サスカトゥーン市の交流受入及び市民交流事業への支援	国際交流協議会が実施する市民交流事業への支援	国際交流協議会が実施する市民交流事業への支援	カナダ・サスカトゥーン市との交流は継続。				豊かな国際感覚を持った人材の育成は、重要。市民が主体となった事業展開が必要。					カナダ・サスカトゥーン市へ高校生を派遣 (派遣団：高校生6名、指導者2名) 市民交流事業の実施(45名参加)
					評価指標 事業参加者数			平成25年度の評価 A						
市計画<323>	継続	継続	見直し	継続	派遣事業は計画通り実施することができた。交流事業は外国語指導助手の協力により、開催することができた。			協議会が運営していることから、派遣事業のプログラム内容は、参加者に好評であった。					継続	
社会教育課	事業費(千円)	420	0	0									920	

4-13-001-1	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	改善する						平成25年度実績	
国際交流事業 【拡大】	海外とのさまざまな交流により、生きた外国の文化、風俗、社会事情を体得し、異文化への理解を深め、広い国際的視野と豊かな国際感覚をもった人材を育てるため、高校生を対象にカナダ・サスカトゥーン市との相互交流や国際交流パネル展、市民交流事業などを実施する国際交流協議会を支援する。		協議会設立25周年事業の実施		カナダ・サスカトゥーン市との交流は継続。				豊かな国際感覚を持った人材の育成は、重要。市民が主体となった事業展開が必要。					/
					評価指標 事業参加者数			平成25年度の評価						
市計画< >	拡大		拡大											
社会教育課	事業費(千円)		0											

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成25年度の評価			平成25年度の評価					

4-13-002	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	改善する						平成25年度実績	
フレンドリーセンター運営事業	障がい者と健常者が生涯学習活動を通じて学び交流する場を提供する。	料理教室、野外レク、サッカー教室、スポーツ観戦事業、スキーツアー事業等の実施 施設管理	料理教室、野外レク、サッカー教室、スポーツ観戦事業、スキーツアー事業等の実施 施設管理	料理教室、野外レク、サッカー教室、スポーツ観戦事業、スキーツアー事業等の実施 施設管理	障がい者と一緒に学び交流する本市独自の事業。会員の高齢化、施設の老朽化などの課題の検討が必要。									陶芸教室、サッカー教室、スポーツ観戦事業、野外レク、スキー教室、体操教室など (10事業のべ224名参加)
市計画<261>	継続	見直し	継続	継続	評価指標 事業参加者数			平成25年度の評価 A					継続	
社会教育課	事業費(千円)	979	992	992	参加者からの要望により、事業内容を見直し、参加しやすいプログラムとして実施した。			ボランティアの参加があり、交流機会として充実した事業が行われた。					925	

4-13-003	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	整える	改善する						平成25年度実績	
中央公民館活動推進事業	市民やサークル、子ども等の相互交流の場を提供し、市民の主体的な学習活動を積極的に支援するとともに、学習・発表の機会や場を提供する。	中央公民館大規模改修工事のため事業休止	ワクワク公民館子どもまつり、公民館まつりの実施	ワクワク公民館子どもまつり、公民館まつりの実施	市民の主体的な活動をさらに助長するため、生涯学習振興会との連携について検討を進める。									ワクワク公民館子どもまつりの実施(700名参加) 公民館まつりの実施(1,000名参加)
市計画<262>	継続	見直し	継続	継続	評価指標 事業参加者数			平成25年度の評価 A					継続	
社会教育課	事業費(千円)	0	355	355	実行委員会の主体性を尊重し、事業が効果的に実施されるよう支援を行った。			幅広い年齢層が実行委員会に参加されており、日常活動の発表の場として、また、市民相互の交流の機会となった。					355	

4-13-003-1	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	整える	改善する						平成25年度実績	
中央公民館活動推進事業 [拡大]	市民やサークル、子ども等の相互交流の場を提供し、市民の主体的な学習活動を積極的に支援するとともに、学習・発表の機会や場を提供する。		中央公民館大規模改修工事後のリニューアル事業としてワクワク公民館子どもまつりを実施		市民の主体的な活動をさらに助長するため、生涯学習振興会との連携について検討を進める。									
市計画< >	拡大		拡大		評価指標 事業参加者数			平成25年度の評価						
社会教育課	事業費(千円)		0											

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成25年度の評価			平成25年度の評価					

4-13-004	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する				平成25年度実績	
生涯学習支援 情報システム 整備事業	図書館情報システム・施設 予約管理システム・生涯学 習情報提供システムからな る生涯学習支援情報システ ム「新学び舎・楓」を活用 し、図書館及び生涯学習の 拠点施設が持つ学習機能を 充実させる。	生涯学習支援システ ムの活用による学習 機会の充実	生涯学習支援システ ムの活用による学習 機会の充実	生涯学習支援システ ムの活用による学習 機会の充実	図書館システムや施設予約シス テム、各種ホームページなど、 機能は多岐に渡っているため、 所管課等の検討は必要。			学習情報の提供、施設利用の利便性向上。 庁内インフラを活用し、多くの部局の集会施設の 管理を一元化しているため、緊密な連絡調整が必要 である。郷土資料管理システムは、コア施設開設と 同時にクラウド型へ分離する。				システム更新 20施設で導入 図書館本館 1 図書館分館 4 施設 19
					評価指標 導入施設数							
					平成25年度の評価	A		平成25年度の評価			A	
					施設利用の利便性の向上など、 十分に機能している。			施設予約システムの所管課が課題。				
市計画<314>	継続	見直し	継続	継続							継続	
文化課	事業費(千円)	15,348	15,995	15,995							19,144	

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成25年度の評価			平成25年度の評価					

4-14-003	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	備える	整える	点検する						平成25年度実績
フレンドリーセンター施設解体工事事業 【新規】	老朽化している施設の解体工事を行う。	実施設計	改修工事 工事監理	《H27事業終了》	施設解体のための実施設計及び工事の実施。			施設の解体について、関係者との協議を行うなどの調整を行う。					/
					評価指標 進捗率								
					平成25年度の評価			平成25年度の評価					
市計画< >	新規	新規	継続										
社会教育課	事業費(千円)	0	0										

4-14-101	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	創る	続ける	点検する						平成25年度実績
林間学園・レクリエーションの森開放事業 (社会教育経費)	自然体験・憩いの場として林間学園・レクリエーションの森を開放する 開園期間 4月第4土曜日～10月31日	維持管理経費 経常 5,685千円 臨時 833千円	維持管理経費	維持管理経費	施設が老朽化しているため、点検を怠らない。			マチの中央に位置しながら、自然をそのまま生かしている本市のまちづくりの象徴的な施設。市民が自然に触れ合い、憩う場として貴重。					維持管理経費 フィールドアスレチックの修繕8箇所 来場者 29,214人
					評価指標 利用者数								
					平成25年度の評価 A			平成25年度の評価 A					
経常経費	継続	継続	継続	継続	フィールドアスレチックは、すべて利用が可能となるよう改修を行った。			身近に自然とふれあう施設として、安全・安心な利用に努めた。					継続
社会教育課	事業費(千円)	6,518	5,610	5,714									6,148

4-14-102	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	備える	整える	改善する						平成25年度実績
フレンドリーセンター陶芸窯移設 【事業名変更 旧解体事業】 (社会教育経費)	フレンドリーセンター電気窯2台移動に係る経費	フレンドリーセンターから旧広葉小学校へ移動 経常 0千円 臨時 218千円	《H25事業終了》		老朽化の進む施設の機能を見直し、設備の有効活用に努める。			新たに開設する関係施設に機能を移管し、設備の有効活用に努める。					移動先の事情で未実施 該当なし
					評価指標 進捗率								
					平成25年度の評価 -			平成25年度の評価 -					
経常経費	継続	継続	終了		該当なし			該当なし					新規
社会教育課	事業費(千円)	218											0

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成25年度の評価			平成25年度の評価					

4-14-103	事業内容 公民館管理事業 (公民館管理経費)	平成26年度 中央・西の里公民館維持管理経費 活動車・借上車経費 中央公民館改修工事 期間中閉館	平成27年度 中央・西の里公民館維持管理経費 活動車・借上車経費	平成28年度 中央・西の里公民館維持管理経費 活動車・借上車経費	めざす 続ける 点検する 施設が老朽化しているため、点検を怠らない。	市民の生涯学習、交流の場としての中核的施設。大規模改修後の管理方法の検討が必要。	平成25年度実績 中央・西の里公民館維持管理経費 活動車・借上車経費 西の里公民館ストーブ排気筒移設、暖房機購入	
経常経費	継続	継続	継続	継続	評価指標 団体利用登録団体数	平成25年度の評価 A	平成25年度の評価 A	継続
社会教育課	事業費(千円)	6,035	11,937	12,158	老朽化に伴う、突発的な施設の不具合に随時対応した。	西の里公民館については、施設の老朽化への対応などを検討する必要である。	11,649	

4-14-104	事業内容 社会教育施設等草刈経費 (社会教育経費)	平成26年度 (駅西口広場・中央公民館・西の里公民館・レクの森)の草刈を実施 中央公民館改修中により回数減	平成27年度 (駅西口広場・中央公民館・西の里公民館・レクの森)草刈り委託	平成28年度 (駅西口広場・中央公民館・西の里公民館・レクの森)草刈り委託	めざす 続ける 点検する 社会教育関係施設の環境整備に努める。	施設の環境整備に努める。	平成25年度実績 草刈委託 (駅西口広場・中央公民館・西の里公民館・レクの森)	
経常経費	継続	継続	継続	継続	評価指標 草刈実施回数	平成25年度の評価 A	平成25年度の評価 A	継続
社会教育課	事業費(千円)	347	424	467	快適な利用を促すため、関係施設の草刈を行った。	施設の状況に応じた施工内容など、効率的な内容を検討する必要がある。	425	

政策5 郷土愛を育む教育活動の推進

施策15 エコミュージアム構想の展開

施策16 文化財の保存と活用

【施策15 エコミュージアム構想の展開】

- 文化遺産の継承を図るため、郷土の歴史資料や伝統的遺産の保存・活用を進めるとともに、市民の文化財を大切に守る心を培い、市民が身近に郷土文化財などにふれることができるようエコミュージアム構想を推進します。
- 郷土に関する学習や、体験学習を通して、郷土の歴史や伝統的遺産を大切に守る心を培い、自らのまちを誇りに思う郷土愛を育む学習機会を提供します。
- エコミュージアム構想を推進し、各地域の自然遺産・歴史遺産・産業遺産等を現地において保全・活用する環境を整備します。
- 重要な郷土資料の保全し、市民参加、情報サービスの発信・提供、資料の展示等、学校等と連携した郷土の教育普及活動を充実します。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画			期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績		
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策			
					めざす	拡げる	改善する								
5-15-001	事業内容 エコミュージアム普及推進事業 市内各地に存在する自然遺産や文化遺産などを現地において、行政と市民の協働により、そのまま保存・育成・展示することを通して魅力ある地域づくり・まちづくりを推進する。また、郷土に関する学習や体験学習を通して、自らのまちを誇りに思う郷土愛を育む学習機会を提供する。	エコミュージアム推進委員会の運営 まちを好きになる市民大学の開講 市内見学バスツアーの実施 郷土学習・講演会の開催	エコミュージアム推進委員会の運営 まちを好きになる市民大学の開講 市内見学バスツアーの実施 郷土学習・講演会の開催	エコミュージアム事業推進団体の設立、団体による事業の実施(市内見学バスツアー、郷土学習・講演会など) まちを好きになる市民大学の開講	事業推進体制の拡大・充実が必要。				市民自らが遺産を保存・活用し、まちを守り育てていく観点が根本。 北広島市エコミュージアム推進委員会など、多くの市民との協働と、観光等関係機関との連携が必要。					平成25年度実績 まちを好きになる市民大学の開講、市内見学バスツアーの実施 自然遺産・歴史遺産等の魅力を後世に伝える体験学習や講演会の開催	
市計画<266>	継続	継続	継続	継続	評価指標	事業参加者数			平成25年度の評価	A	平成25年度の評価	A		統合	
エコミュージアムセンター	事業費(千円)	650	677	677	平成25年度の評価	まちを好きになる市民大学や市内見学バスツアーの継続により、郷土体験を含め北広島の魅力を多くの市民に提供。			「まちを好きになる市民大学」卒業生はOB会(任意団体)として遺産の調査を行い、その成果を発表しその魅力を多くの市民に発信しているが、今後の育成・支援方法が課題。					459	
5-15-001-1	事業内容 エコミュージアムを活用し、地域住民に開かれた施設開放と郷土愛を育む学習機会を提供するため、郷土資料の保護とともに常設展示や企画展、各種事業を実施する。 [拡大]	エコミュージアム拠点施設等整備事業にて実施	講演会、常設展示、企画展の実施	講演会、常設展示、企画展の実施	めざす	拡げる	改善する							平成25年度実績	
市計画<243>	拡大		拡大	継続	事業推進体制の拡大・充実が必要。				市民自らが遺産を保存・活用し、まちを守り育てていく観点が根本。 北広島市エコミュージアム推進委員会など、多くの市民との協働と、観光等関係機関との連携が必要。						
エコミュージアムセンター	事業費(千円)		2,264	2,704	評価指標	事業参加者数			平成25年度の評価		平成25年度の評価				

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画			期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績	
					懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策		
					平成25年度の評価			平成25年度の評価						
5-15-002	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	創る	広げる	改善する							平成25年度実績
旧島松駅通所 周辺整備事業	より多くの市民に観覧してもらい、駅通所を身近に感じ知ってもらうことによって、開拓の歴史の理解を深めてもらうため、旧島松駅通所の周辺の隣地の整備を行う		実施設計及び測量	周辺事業工事 《平成28年度終了》	隣地の史跡拡大を目指し、エコミュージアムのサテライト施設として活用する。			駅通所は、歴史を正しく伝えるうえで国民の財産と成り得る史跡であり、国や地域の理解や協力を得て進める必要がある。					整備時期について 道と調整協議 島松川河川改修時期の判明	
					評価指標 進捗率									
					平成25年度の評価 B			平成25年度の評価 B						
市計画<267>	継続	見直し	継続	終了	旧島松駅通所周辺整備を検討。整備時期について道の河川改修担当者と打合せを行った。			旧島松駅通所周辺整備を検討。道の河川改修担当者より河川改修前の周辺整備は行わないでほしいとの申入れもあり先送りを決定した。					見直し	
エコミュージアムセンター	事業費(千円)	0	5,832	34,210									0	
5-15-003	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	創る	広げる	改善する							平成25年度実績
エコミュージアム拠点施設等 整備事業	従来の博物館的要素のみばかりでなく、地域に残る「事・物」を現地で保存・保管し、それらの情報の発信や郷土資料の展示等を行う施設であるエコミュージアムの拠点施設を整備する。	拠点施設の整備 備品の購入 拠点施設の開館・運営 オープン記念事業の実施	《H26事業終了》 運営(管理的経費に移行)		エコミュージアム構想を進める上で不可欠な拠点施設として準備していく。			生涯学習における学習環境整備として重要課題である。 市民と行政の協働の観点から住民が主体的に参加する場を保证する機能(解説等)を併せ持つ必要がある。					備品、事務機器等 購入(施設受け渡し後、搬入)	
					評価指標 進捗率									
					平成25年度の評価 A			平成25年度の評価 A						
市計画<331>	継続	継続	終了		設置及び運営に関する方針を策定するとともに、開設に伴う備品購入など、開設に向けて準備を進めた。			H26年度の開設に向けて、条例・規則等の整備。市民公募による「知新の駅」の名称を策定するなど、準備を進めている。					見直し	
エコミュージアムセンター	事業費(千円)	6,571											9,247	

【施策16 文化財の保存と活用】

- 1 史跡や歴史資料を適切に保存するとともに、その活用により歴史と文化に対する市民の理解を深め、貴重な文化財の保護を進めます。
- 2 郷土の歴史、自然等の調査研究や資料の収集保存を進めます。また、市文化財の指定を行い、保存します。
- 3 郷土文化、伝承事業に対する支援を進めます。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績	
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策		
			平成25年度の評価			平成25年度の評価						
5-16-001	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	改善する					平成25年度実績
文化財保存・活用事業	本市の文化財や郷土資料を周知し、郷土に対する愛着とふるさと意識の高揚を図るため、国指定文化財と北広島市文化財保護審議会が指定する市指定文化財、郷土の自然や歴史を後世に伝えるために適切な保存と活用を行う。	旧島松駅通所開館事業の実施 旧島松駅通所庭内整備の実施 東記念館収蔵室の維持管理 北広島市水稲赤毛種保存会に対する助成文化財等調査補助員の配置	旧島松駅通所開館事業の実施 旧島松駅通所庭内整備の実施 東記念館収蔵室の維持管理 北広島市水稲赤毛種保存会に対する助成文化財等調査補助員の配置	旧島松駅通所開館事業の実施 旧島松駅通所庭内整備の実施 東記念館収蔵室の維持管理 北広島市水稲赤毛種保存会に対する助成文化財等調査補助員の配置	遺産を後世に伝えていくためには、適切な保存・管理が必要だが、継続的な手当てと、計画的なメンテナンスが必要である。			生涯学習における学習環境整備として重要な課題である。 まちの遺産は、その地域の協力なしには保存されないものであり、理解と協力が必要。				旧島松駅通所と東記念館の維持管理及び開館事業の実施、北広島市水稲赤毛種保存会に助成の拡大 文化財保護審議会の開催(2回)
評価指標	旧島松駅通所入館者数・東記念館郷土資料室入場者数											
市計画<268>	継続	見直し	継続	継続	市民の郷土意識の高まりにより旧島松駅通所及び東記念館収蔵室の来場者が増加している。			市内各所の遺産の修復・案内板の設置などの計画的な取り組みが必要。また、文化財保護審議会による市指定文化財の有無についての調査を進める。				継続
エコミュージアムセンター	事業費(千円)	4,463	5,816	5,816								3,233
5-16-002	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する					平成25年度実績
郷土文化伝承支援事業	本市の郷土芸能を後世に伝えるため、保存・継承している団体を支援する。	広島音頭保存会に助成、北広島ふるさと太鼓保存会に対する助成	広島音頭保存会に助成、北広島ふるさと太鼓保存会に対する助成	広島音頭保存会に助成、北広島ふるさと太鼓保存会に対する助成	伝統芸能と呼ぶには歴史が浅いが、北広島の郷土芸能振興を目的に継続する。			郷土芸能は地域に根ざしたものであり、多くの市民による保存伝承活動が必要である。 郷土芸能の振興は、祭りや式典などでの演目等まちづくりへの貢献の一環としても大切な事業である。				広島音頭保存会に助成、北広島ふるさと太鼓保存会に助成
評価指標	支援団体数											
市計画<333>	継続	継続	継続	継続	北広島には伝統芸能と呼ばれるものは少ないが、確実に受け継がれていくことにより、評価できる伝統芸能に発展していく。			会員の高齢化や活動の活性化・活用機会等、伝統文化の継承の視点から支援方針についての在り方が課題となる。				継続
エコミュージアムセンター	事業費(千円)	212	212	212								212

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成25年度の評価			平成25年度の評価					

5-16-003	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	創る	整える	点検する					平成25年度実績
寒地稲作140周年記念事業	寒地稲作発祥140周年を記念し、市として各種事業に取り組む中、文化課として見本田の拡張や旧島松駅通所の夜間開放・夜間ライトアップ、久蔵祭を通し、中山久蔵翁の功績を市民と共に再認識・再確認する事業を行う。	H25事業終了			寒地稲作発祥140周年を記念し、多くの市民と共に中山久蔵翁を含め、事業を通しその功績を再確認・再認識する。			行政内（経済部・企画部）での連携により寒地稲作発祥140周年及び中山久蔵翁の功績を市民と共に再確認・再認識する事業を実施。事業の実施にあたり、市民や関係機関・団体との連携・協働が必要となる。				見本田の拡張 旧島松駅通所夜間開放・ライトアップ 久蔵祭の開催 (企画総務費に予算計上)
市計画<691>	終了	終了			評価指標		参加人数					新規
エコミュージアムセンター	事業費(千円)				平成25年度の評価	A		平成25年度の評価		A		874
					関係各課、各種団体団体と連携費、中山久蔵翁の功績を市全体で再確認・再認識することができた。			市民や関係機関・団体との連携・協働により、島松駅通所の夜間開放及びライトアップを開催。久蔵祭では市内外から多くの人で賑わった。				

政策6 生涯にわたる読書活動の推進

施策17 図書館サービスの充実

施策18 子どもの読書活動推進

【施策17 図書館サービスの充実】

- 1 市民が求める資料と情報の提供を図るため、図書や雑誌などの資料の充実に努めるとともに、市民が利用しやすい環境づくりを進めます。
- 2 地域・学校の読書ネットワークを整備し、読書を楽しみ、学びあう市民意識を醸成します。
- 3 図書館フィールドネットなどの市民との協働により、乳幼児から高齢者までの生涯を通じた読書活動の充実をめざします。
- 4 図書館や北広島団地住民センター、西の里公民館の図書室などの整備・拡充を図ります

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成25年度の評価			平成25年度の評価					

6-17-001	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績		
図書館サービス提供事業	図書館が行っている図書の貸出・リクエスト・予約やレファレンス・相互貸借などの基本的サービスのほか、利用価値の高い図書館サービスを提供する。	図書館資料の購入情報検索データベースの活用 高齢者等の宅配サービスの実施 インターネット配信「光ステーション」の導入	図書館資料の購入情報検索データベースの活用 高齢者等の宅配サービスの実施	図書館資料の購入情報検索データベースの活用 高齢者等の宅配サービスの実施	現状のサービス水準を維持し、市民要望に対する点検を怠らないこと。			生涯にわたる学習環境の充実にとって、図書館は重要な位置を占める。 窓口業務委託の継続						図書や視聴覚資料等の購入、情報検索データベースの活用、高齢者への図書の宅配、高齢者のための大活字本・視聴覚資料などの購入、宅配ボランティアの養成	
					評価指標	予約貸出率(達成件数/年間リクエスト総数)									
					平成25年度の評価	A			平成25年度の評価					A	
					資料費・開館時間など近隣市と比較しても上位。利用率も道内トップクラスを維持している。			宅配ボランティアによる、高齢者等図書宅配サービスを実施。資料の貸出などサービスの範囲を拡大。							
市計画<269>	継続	継続	継続	継続											継続
文化課	事業費(千円)	21,073	21,894	21,913											21,023

6-17-002	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	創る	続ける	改善する						平成25年度実績		
図書館フィールドネット連携事業	図書館のボランティア団体で構成する図書館フィールドネット運営委員会を支援し、読書の普及を促進する。	図書館フィールドネット運営委員会に対する助成	図書館フィールドネット運営委員会に対する助成	図書館フィールドネット運営委員会に対する助成	市民参加による読書振興・図書館運営という点が稀有な活動。			視覚障がい者への朗読・点訳活動、破損した図書の修理などのサービスの充実に大きく貢献している。 読書まつり等の普及イベントを実施。						図書館フィールドネット運営委員会に助成	
					評価指標	参加者数									
					平成25年度の評価	A			平成25年度の評価					A	
					市民参加による稀有な活動であるので今後も支援する必要がある。			図書館運営・読書振興など、より社会貢献を行える団体へと成長する必要がある。							
市計画<270>	継続	継続	継続	継続											継続
文化課	事業費(千円)	1,500	1,500	1,500											1,500

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成25年度の評価			平成25年度の評価					

6-17-104 読書環境整備 事業 (図書館運営 経費)	事業内容 点訳・朗読サービス用備品 他、関係普及事業用具の購 入、団地住民センター・西 の里公民館の地区分室の拠 点化に向けた検討	平成26年度 移動図書館車の冬タ イヤ買い替え (臨時 378千円)	平成27年度 点訳・朗読サービス 用備品他、関係普及 事業用具の購入	平成28年度 点訳・朗読サービス 用備品他、関係普及 事業用具の購入	めざす 続ける 点検する 使用限界を超えた印刷機器等の 更新など、点検を怠らないよう 注意。						新たなコミュニティ施設の開設などの機会があれば、団地住民センター・西の里分館などの拡充を図る。	平成25年度実績 自動紙折り機の更新。
					評価指標 更新件数 資料数							
					平成25年度の評価 A	平成25年度の評価				B		
経常経費	継続	継続	継続	継続	開館からの備品が劣化している ものも多くなってきているた め、点検・更新を継続してい く。	団地住民センター・西の里分館の今後の整備が課題 となっている。					継続	
文化課	事業費(千円)	378	300	300								237

【施策18 子どもの読書活動推進】

- 1 市民との協働を踏まえながら、新たな「北広島市子どもの読書活動推進計画」を策定し(H23策定済)、学校図書館を中心とした読書環境整備を進めます。
- 2 学校図書館においては蔵書の充実に努めるとともに、幼稚園・保育園とのネットワーク化を推進します。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成25年度の評価			平成25年度の評価					

6-18-101 幼児読書活動 推進事業 (図書館運営 経費)	事業内容 子どもの読書推進計画に基 づき、就学前の幼児に身近 で図書館に親しむ取組みと して、幼児絵本の巡回配置 「小豆」を実施する。	平成26年度 幼児絵本180冊の 補充。 寄贈本で対 応。 実施園数を拡大。	平成27年度 幼児絵本180冊の 補充 実施園数を拡大。	平成28年度 幼児絵本180冊の 補充 実施園数を拡大。	創 る 拡げる 改善する 小学校で行われている通称「豆 次郎」の幼年版(「小豆」とし て計画。幼児の読書活動推進に とって、独自性の高い活動。						学校教育から幼児、乳幼児まで読書活動の推進を 図ることは、生涯にわたる読書活動の推進にとって 重要。 学校・幼稚園・保育園との連携による。	平成25年度実績 保育園1園を新た に追加し、幼稚園 2園保育園2園に おいて実施した。
					評価指標 実施園率							
					平成25年度の評価 A	平成25年度の評価				B		
経常経費	継続	継続	継続	継続	幼児読書活動推進事業は4園で 実施した。	資料確保の課題はあるが、小豆の巡回手法を確立 し、段階的に実施園の拡大を行う。					継続	
文化課	事業費(千円)	0	20	20								0

政策7 芸術文化活動の振興

施策19 個性豊かな地域文化の振興

施策20 市民等との連携による芸術文化活動の展開

【施策19 個性豊かな地域文化の振興】

- 1 芸術文化創造プランを策定し(H23策定済)、芸術文化の創造を担う人材の育成と活動の場の創出を進めます。
- 2 優れた芸術文化活動に対する顕彰を行うとともに、市民が主体的に取り組む芸術文化活動を積極的に支援します。
- 3 ワークショップやセミナーなど、市民が芸術文化を気軽に体験できる機会を提供します。
- 4 芸術文化活動に主体的に取り組んでいる市民団体やサークルを支援します。
- 5 芸術文化ホールの計画的な改修と整備を進め、利便性の向上を図ります。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画			期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
					懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
					平成25年度の評価			平成25年度の評価					
7-19-001	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績
文化賞等表彰 事業	優秀な文化活動の顕彰を通し、市民の芸術文化活動に対する意欲の向上を高めるとともに、心豊かな生活の一助になるため、11月3日の文化の日に、優秀な文化活動を行う市民(成人・青少年)や団体の顕彰を行う。	文化賞等表彰式の開催 (予算執行はスポーツ賞)	文化賞等表彰式の開催 (予算執行はスポーツ賞)	文化賞等表彰式の開催 (予算執行はスポーツ賞)	芸術文化分野での顕彰事業として、市民の芸術文化活動に対する意欲を高めることから堅実性・継続性が重要となる。			芸術文化活動を通じた地域づくりや人材育成の視点に優れた文化活動を顕彰する。 生涯にわたり学び、その成果を活かした活動を支援することにつながる。					文化賞等表彰式の開催 文化賞4件、文化奨励賞3件、文化貢献賞2件、青少年文化奨励賞2件
					評価指標 文化賞等表彰者数								
					平成25年度の評価	A		平成25年度の評価			A		
					「文化の日」に表彰式を実施した。芸術文化分野を概ね網羅し顕彰できている。			受賞該当者の漏れが無いよう推薦・選考過程の検証が必要である。					
市計画<272>	継続	継続	継続	継続									継続
文化課	事業費(千円)	0	0	0									0
7-19-002	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績
市民文化祭奨 励事業	市内の芸術文化や市民の芸術文化活動の促進のため、市民の芸術文化活動を発表する機会の提供とその支援を行う。	市民総合文化祭及び地区文化祭に助成	市民総合文化祭及び地区文化祭に助成	市民総合文化祭及び地区文化祭に助成	市民の主体的な取り組みを支援する。助成内容の点検を怠らない。			学んだ成果の発表・活かす場として市民の主体的な取り組みを支援する施策である。 芸術文化を通じた地域づくりや人づくりにつながる。 芸術文化の振興を市民と協働し行う。					市民総合文化祭及び地区文化祭に助成
					評価指標 市民総合文化祭参加人数 地区文化祭参加者総数								
					平成25年度の評価	A		平成25年度の評価			A		
					本事業により市民が主体的に企画運営する文化祭は市民に定着している。			実施主体が高齢化しているものの、児童・生徒の発表など学校連携も定着し、入場者数などを維持している。					
市計画<274>	継続	継続	継続	継続									継続
文化課	事業費(千円)	650	650	650									650

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成25年度の評価			平成25年度の評価					

7-19-003	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績		
文化団体活動 支援事業	市内の芸術文化や市民の芸術文化活動の発展のため、芸術文化活動を行う各種団体に各団体の芸術文化事業への支援を行う。	北広島市文化連盟、北広島音楽協会に対する助成	北広島市文化連盟、北広島音楽協会に対する助成	北広島市文化連盟、北広島音楽協会に対する助成	芸術文化活動がより活発化するよう主体的な団体活動を支援する。				生涯学習の視点から、市民の主体的な芸術文化活動団体の支援は重要な施策である。団体支援を通し芸術文化活動による地域づくりや人材の育成につなげる。各種団体との協働により芸術文化の振興を目指す。						北広島市文化連盟及び北広島音楽協会に助成
					評価指標	支援団体数									
					平成25年度の評価	A					平成25年度の評価	A			
市計画<273>	継続	継続	継続	継続	芸術祭等への参加や、演奏会等の自主事業、技術向上の研修会など、団体間の連携を図りながら活動している。					文化連盟・音楽協会の加盟団体が団体個々の活動の成果発表の場として演奏会の開催や芸術祭への参加を自主的に実施、生涯学習活動の一環となっている。					継続
文化課	事業費(千円)	640	640	640											640

7-19-004	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	備える	続ける	点検する						平成25年度実績		
文化施設修繕 事業	文化施設の安全性や利便性などの機能維持を図るため、耐用年数などを考慮しながら、保守点検等で不具合が確認された設備や箇所について計画的な修繕を行う。	正面玄関外部・駐車場監視カメラ借上、ホワイエ・客席屋上防水改修	吊物・活動室屋上改修、空調設備等修繕	文化施設共用部屋上防水改修、非常灯誘導灯改修	建物本体及び設備の将来の大規模改修を視野に入れ、長期的な改修プランに基づく計画的な修繕事業を実施する。				設備等の延命化を図るための効果的な部品交換や修繕の実施。省エネの取り組みの推進。						・電波障害設備撤去 (芸術文化ホール設備修繕事業を分割) 9月補正により ・空調設備等修繕
					評価指標	進捗率									
					平成25年度の評価	B					平成25年度の評価	A			
市計画<278>	継続	見直し	継続	継続	施設の竣工から15年が経過し、修繕等の必要箇所が増えている。					平成25年度は、施設全体の長期的な改修プラン策定を行った。					分割
文化課	事業費(千円)	23,015	24,360	24,460											3,045

7-19-005	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	備える	続ける	点検する						平成25年度実績		
芸術文化ホール 設備修繕事業	芸術文化ホール(客席、舞台、音響、照明設備等)の安全性や芸術文化振興のための機能維持を図るため、保守点検等で不具合が確認された設備や箇所について計画的な修繕を行う。	舞台設備等修繕 音響設備等修繕 照明設備等修繕	舞台吊物ワイヤー修繕 外国製ピアノ弦張り替え	舞台吊物等、音響設備等修繕	建物本体及び設備の将来の大規模改修を視野に入れ、長期的な改修プランに基づく計画的な修繕事業を実施する。				設備等の延命化を図るための効果的な部品交換や修繕の実施。省エネの取り組みの推進。						舞台照明設備修繕 (文化施設修繕事業から分割、営繕基金対応)
					評価指標	進捗率									
					平成25年度の評価	B					平成25年度の評価	B			
市計画<341>	継続	見直し	継続	継続	竣工から15年が経過し、備品の更新、舞台装置の修繕等必要箇所が増えている。					平成25年度は、劇場ホール設備の長期的な改修プラン策定の検討を行った。					分割
文化課	事業費(千円)	6,750	10,884	9,990											2,709

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成25年度の評価			平成25年度の評価					

7-19-101	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績			
文化施設維持管理 (文化施設維持管理経費)	芸術文化ホール・図書館の施設維持管理	設備管理業務委託 清掃委託 警備委託 設備保守点検委託 光熱水費ほか 経常56,459千円 臨時 1,000千円	設備管理業務委託 清掃委託 警備委託 設備保守点検委託 光熱水費ほか	設備管理業務委託 清掃委託 警備委託 設備保守点検委託 光熱水費ほか	点検を怠らず、計画的な管理運営を行う。			大規模な専門的施設であり、受託者等との連絡調整や点検を怠らず、効率的な管理運営を行う必要がある。						設備管理業務委託 清掃委託 警備委託 設備保守点検委託 光熱水費ほか		
					評価指標					-						
					平成25年度の評価			A		平成25年度の評価					A	
					受託者等との連携により計画的な管理運営を行う事が出来た。					受託者等や団体との協働により、計画的な管理運営を行う事が出来た。次年度以降、も引き続き受託者と連携を行う準備を行う。					継続	
経常経費	継続	継続	継続	継続											継続	
文化課	事業費(千円)	57,459	57,282	57,282											56,567	

7-19-102	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績			
芸術文化ホール管理 (芸術文化ホール管理経費)	芸術文化ホールの設備維持管理	舞台設備運営管理委託 窓口業務委託 借上車経費 ビデオプロジェクト ター購入 経常35,730千円 臨時 359千円	舞台設備運営管理委託 窓口業務委託 借上車経費	舞台設備運営管理委託 窓口業務委託 借上車経費	点検を怠らず、計画的な管理運営を行う。			専門的な施設・設備であり、受託者等との連絡調整を怠らず、効率的な管理運営を行う必要がある。						舞台設備運営管理委託 窓口業務委託 借上車経費		
					評価指標					-						
					平成25年度の評価			A		平成25年度の評価					A	
					受託者等との連携により計画的な管理運営を行う事が出来た。					受託者等や団体との協働により、計画的な管理運営を行う事が出来た。					継続	
経常経費	継続	継続	継続	継続											継続	
文化課	事業費(千円)	36,089	35,349	35,349											38,081	

7-19-103	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績			
北広島市芸術文化振興審議会 (芸術文化振興経費)	芸術文化の振興について教育委員会からの諮問に応じ調査審議する。委員10名	北広島市芸術文化振興審議会の開催 委員構成を変更	北広島市芸術文化振興審議会の開催	北広島市芸術文化振興審議会の開催	芸術文化の振興に対する市民意見の反映に必要。運営等の点検を怠らない。			芸術文化の振興に対する市民参画の重要な手法である。						年2回開催		
					評価指標					開催回数						
					平成25年度の評価			A		平成25年度の評価					A	
					文化賞等受賞者選考において、有意義な審議が成されている。					今後、芸術文化振興プランの進行管理のため、委員構成や開催時期等の見直しが必要。					継続	
経常経費	継続	継続	継続	継続											継続	
文化課	事業費(千円)	122	125	125											125	

【施策20 市民等との連携による芸術文化活動の展開】

- 1 地域の文化活動を支援する財団法人等や地域貢献活動(メセナ)を行う企業との共催、他の公共ホールなどとの連携を推進します。
- 2 芸術文化ホールなどの活用により、市民が芸術文化に親しめる環境づくりを進めます。
- 3 市民との協働により、ボランティア組織の拡充を図りながら、芸術文化ホールの運営を進めます。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画			期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
					懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
					平成25年度の評価			平成25年度の評価					
7-20-001	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	広げる	改善する						平成25年度実績
芸術文化ホール運営委員会連携事業	市と協働で芸術鑑賞型事業及び芸術創造事業を推進し、市民の主体的な芸術文化活動の活発化と資質向上を図るため、芸術文化ホール運営委員会を支援する。	北広島市芸術文化ホール運営委員会に助成委員会による自主事業の実施	北広島市芸術文化ホール運営委員会に助成委員会による自主事業の実施	北広島市芸術文化ホール運営委員会に助成委員会による自主事業の実施	市民との協働による柔軟なホール運営として高い評価を得ているが、今後も社会情勢の変化に応じた運営体制の点検が必要。			市民等で組織する北広島市芸術文化ホール運営委員会の企画による事業展開は、生涯学習の充実を目指すものであり、市民協働による市民のニーズを踏まえた活動と位置づけられる。					芸術鑑賞型事業 15本 芸術創造事業 6本
					評価指標			鑑賞事業参加人数	育成事業参加人数				
					平成25年度の評価			A	平成25年度の評価				A
					多様な事業の企画・運営ができており、文化振興の拠点として機能している。			公演や各種セミナーを企画・実施。地域団体や関係団体との連携が出来ている。事務局体制の構築が課題。					継続
市計画<279> 文化課	継続 事業費(千円)	見直し 11,835	継続 11,882	継続 11,882									継続 11,882
7-20-002	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績
花ホールスタッフの会支援等事業	市及び運営委員会等が主催する事業のサポート活動やパーコーナールの運営など、芸術文化ホール(花ホール)を拠点に活動する花ホールスタッフの会を支援する。	花ホールスタッフの会に対する助成花ホールボランティア講習会の実施	花ホールスタッフの会に対する助成花ホールボランティア講習会の実施	花ホールスタッフの会に対する助成花ホールボランティア講習会の実施	主催事業や貸館事業のサポートとして芸術文化の振興に大きく寄与している。			ボランティア団体による社会貢献の活動と位置づけられ、市民協働によるホール運営の面を持つ。					花ホールスタッフの会に交付金を交付 花ホールボランティア講習会の実施を強化した。
					評価指標			サポート件数	講習会参加人数				
					平成25年度の評価			A	平成25年度の評価				A
					ホール事業実施の上で欠かせない活動となっている。			将来的に安定した人材を確保する手段を講ずる必要がある。					継続
市計画<280> 文化課	継続 事業費(千円)	継続 320	継続 380	継続 380									継続 380

政策8 健康づくりとスポーツ活動の推進

施策21 健康で生きがいのあるスポーツ活動の推進

施策22 競技スポーツの振興

施策23 スポーツ施設の整備と運営

【施策21 健康で生きがいのあるスポーツ活動の推進】

- 1 市民だれもが健康で生きがいのある生活がおくれるよう、市民との協働による各種スポーツ教室やスポーツ活動の推進、健康・体力づくり機会の拡充を図ります。
- 2 市民の自主的な参加と健康・体力づくり機会を拡充するため、各種スポーツイベントの開催をはじめとするスポーツ事業の推進を図ります。
- 3 スポーツ推進委員や地区生涯学習振興会と連携し、地域におけるスポーツ・レクリエーション活動の推進を図ります。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画			期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績	
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策		
					平成25年度の評価			平成25年度の評価						
8-21-001	きたひろしま30kmロードレース連携事業	きたひろしま30kmロードレース実行委員会に対する助成	きたひろしま30kmロードレースの運営支援	きたひろしま30kmロードレースの運営支援	創る	広げる	点検する							平成25年度実績
	参加者の交流や本市の魅力の発信による、まちの活性化と市民の健康増進を図るため、きたひろしま30kmロードレースを開催する。				市の一大スポーツイベントとして、多くの関係団体との連携による事業運営。			本市の魅力を全道、全国にPRする事業として、また市民の健康づくり、生きがいづくりの機会を提供する事業として、関係各団体と連携した事業運営が必要。					きたひろしま30kmロードレース実行委員会へ助成	
					評価指標 参加者数									
					平成25年度の評価 A			平成25年度の評価 A						
					団体関係者による実行委員会で協議が進められた。			市外からの参加者も多く、市のPRにも大きく寄与している事業であり、関係団体と行政が連携して効果的な運営を行った。						
市計画<286>	継続	見直し	継続	継続									継続	
社会教育課	事業費(千円)	300	0	0									300	
8-21-002	市民スポーツ活動推進事業	各種障がい者スポーツ大会の支援、スーパードッジボール大会、スナッグゴルフ大会、いちにのジャンプ大会、30°歩ける会など各種スポーツ・レクリエーションイベントの開催	各種障がい者スポーツ大会の支援、スーパードッジボール大会、スナッグゴルフ大会、いちにのジャンプ大会、30°歩ける会など各種スポーツ・レクリエーションイベントの開催	各種障がい者スポーツ大会の支援、スーパードッジボール大会、スナッグゴルフ大会、いちにのジャンプ大会、30°歩ける会など各種スポーツ・レクリエーションイベントの開催	めざす	続ける	改善する							平成25年度実績
	子どもから高齢者、障がい者までさまざまな市民を対象に健康保持増進と生きがいや潤いのある生活を助長することを目的にスポーツ・レクリエーション活動に親しむ機会を提供する。				市民ニーズを把握し、事業及び事業内容の改善に努める。			各世代、障がい者のニーズに対応したスポーツ・レクリエーション事業を実施し、健康づくり、生きがいづくりを助長する。 地区生涯学習振興会、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ推進委員等との協働を進める。					各種障がい者スポーツ大会の支援、スーパードッジボール大会、いちにのジャンプ大会、30°歩ける会、スナッグゴルフ大会、近隣市交流事業の開催(家庭婦人スポーツ交流大会)など各種スポーツ・レクリエーションイベントの開催	
					評価指標 参加者数									
					平成25年度の評価 A			平成25年度の評価 A						
					参加者にとって充実したイベントとするため、点検・見直しを行った。			各種イベントで、例年どおりの参加があり、市民の健康づくりに寄与できた。今後も多くの市民に参加してもらおうよう、周知方法等を検討する。事業実施にあたっては、スポーツ推進委員、関係団体等との連携を図った。						
市計画<288>	継続	継続	継続	継続									継続	
社会教育課	事業費(千円)	261	300	300									765	

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成25年度の評価			平成25年度の評価					

8-21-002-1	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	改善する						平成25年度実績
市民スポーツ 活動推進事業 [拡大]	赤い羽根ティーボール北の甲子園大会への支援や平成28年度に本市において開催する近隣3市交流事業(家庭婦人スポーツ交流大会)を実施する。	「赤い羽根ティーボール北の甲子園大会」支援	「赤い羽根ティーボール北の甲子園大会」支援	近隣3市交流事業(家庭婦人スポーツ交流大会)の実施	市民ニーズを把握し、事業及び事業内容の改善に努める。			各世代、障がい者のニーズに対応したスポーツ・レクリエーション事業を実施し、健康づくり、生きがいづくりを助長する。 地区生涯学習振興会、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ推進委員等との協働を進める。					/
					評価指標 参加者数								
					平成25年度の評価			平成25年度の評価					
市計画<365> 社会教育課	拡大 事業費(千円)	拡大 200	継続 200	拡大 100									

8-21-101	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績
スポーツ推進 委員 (保健体育事 務経費)	住民のスポーツ振興のため実技指導や各種大会の企画運営を行う 全道管内協議会への参加	推進委員15名 報酬 研修会への参加	推進委員15名 報酬 研修会への参加	推進委員15名 報酬 研修会への参加	市内各地域のスポーツ・レクリエーションの振興の一端を担っている。			本市の生涯スポーツ振興の推進者、コーディネーターとしての役割が期待される。					大会企画運営 全道・管内協議会 参加
					評価指標 スポーツ推進委員の参加事業数								
					平成25年度の評価 A			平成25年度の評価 A					
経常経費 社会教育課	継続 事業費(千円)	継続 575	継続 533	継続 533	委員が主体となって実施している事業のほか、各地域・振興会と連携した活動が多くなっている。			委員が主体となって各事業に取り組んでおり、新たな事業展開に向けた研修に取り組むなど、前向きな活動となってきている。					継続 525

【施策22 競技スポーツの振興】

- ジュニアスポーツ活動の振興を図るため、北広島少年スポーツアカデミーにおける選手の強化育成や底辺拡大、指導者の養成に取り組むとともに、中学校部活動への支援などを行います。
- 国際大会や全国大会等への出場を支援するほか、スポーツ大会において優秀な成績をおさめた市民を表彰し、市民の自発的なスポーツ活動の振興と奨励を図ります。
- 市体育協会やスポーツ少年団本部に対して支援を行い団体の組織強化と育成を図ることで、競技者のスポーツ活動の振興を図ります。

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成25年度の評価			平成25年度の評価					

8-22-001	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	改善する						平成25年度実績	
スポーツアカデミー事業	全国、国際レベルの選手育成及び青少年の健全育成を図るため、ジュニアスポーツ選手強化事業、底辺拡大事業、指導者養成事業を実施する。	指導者及びジュニアスポーツリーダーの養成 スポーツ教室、キッズスポーツ塾、ジュニアスポーツ塾、種目別講習会の実施	指導者及びジュニアスポーツリーダーの養成 スポーツ教室、キッズスポーツ塾、ジュニアスポーツ塾、種目別講習会の実施	指導者及びジュニアスポーツリーダーの養成 スポーツ教室、キッズスポーツ塾、ジュニアスポーツ塾、種目別講習会の実施	子どもの体力の強化、社会性を育む人づくり事業として、参加状況やニーズの変化に留意しながら、事業内容の改善を進める。			生涯に渡ってスポーツに親しむ市民を増やすため、子どものときから、スポーツに親しむ機会を拡充することが必要。 体育協会、スポーツ少年団本部、地区生涯学習振興会、総合型地域スポーツクラブ等との連携。						指導者及びジュニアスポーツリーダー養成、スポーツトレーニング教室、キッズスポーツ塾、ジュニアスポーツ塾、種目別講習会の実施
市計画<290>	継続	継続	継続	継続	評価指標 参加者数			平成25年度の評価	A	平成25年度の評価			A	
社会教育課	事業費(千円)	1,093	1,109	1,109	各種事業については、より実情に即した内容とするべく、学校や関係団体の意向を踏まえながら実施した。			各種事業の実施にあたっては、総合型地域スポーツクラブ、生涯学習振興会、体育協会、各競技連盟、学校、大学などと十分連携をとりながら実施した。					継続	
													963	

8-22-002	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績	
全国中学生空手道選抜大会連携事業	本市を全国にPRするとともに、空手道を通じ青少年の健全育成を図るため、全国中学生空手道選抜大会を開催する。	第9回はまなす杯全国中学生空手道選抜大会の開催	第10回はまなす杯全国中学生空手道選抜大会の開催	H27事業終了	市内における空手道競技の普及。 大会のスムーズな運営のための点検を怠らない。			本市を全国にPRする事業としての視点は重要。						第8回はまなす杯全国中学生空手道選抜大会の開催
市計画<291>	継続	継続	継続	終了	評価指標 大会来場者数			平成25年度の評価	A	平成25年度の評価			A	
社会教育課	事業費(千円)	4,500	4,500		未経験者の小学生・成人を対象とした教室を開催し、競技の普及を図った。また、大会については、スムーズな運営に努めた。			大会を通じ、本市を全国にPRする取り組みを行った。					継続	
													4,500	

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成25年度の評価			平成25年度の評価					

8-22-006	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	改善する					平成25年度実績	
体育協会活動 支援事業	市民の積極的なスポーツ活動と振興を図るため、NPO法人北広島市体育協会の運営等を支援する。	北広島市体育協会に対する助成	北広島市体育協会に対する助成	北広島市体育協会に対する助成	本市のスポーツ振興を担う中核的組織であり、当協会活動の発展、活性化への支援を継続。							競技者の育成、市内のスポーツ競技の普及に取り組み団体を支援することにより、市民の健康づくり、生きがいを推進する。 体育協会への本市事業の一部移管の検討及び協働の推進。	北広島市体育協会に助成
					評価指標			加盟団体数、会員数					
					平成25年度の評価			A		平成25年度の評価			A
市計画<284>	継続	継続	継続	継続	協会への支援を行うことにより、各スポーツ団体との連携強化が図られ、スポーツの振興に寄与している。			協会が主催する各種スポーツ教室やイベントは、加盟団体との協働で実施されており、協会に対する支援の成果と言える。			継続		
社会教育課	事業費(千円)	3,118	3,118	3,118							3,118		

8-22-007	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	改善する					平成25年度実績	
スポーツ少年 団育成事業	青少年の健全育成やスポーツ少年団の組織強化と自主的な活動の推進のため、スポーツ少年団を支援する。	スポーツ少年団本部に対する助成	スポーツ少年団本部に対する助成	スポーツ少年団本部に対する助成	子どものスポーツ振興を担う中核的組織であり、当団体活性化のための支援を継続。							子どもの健康・体力づくり、健全育成を目的に活動している少年団の支援は重要。 地域における指導者の養成や確保が必要。スポーツアカデミー事業との連携推進。	スポーツ少年団本部に助成
					評価指標			加盟団体数、加盟者数、指導者数					
					平成25年度の評価			A		平成25年度の評価			A
市計画<285>	継続	継続	継続	継続	組織基盤は脆弱であり、支援することは重要である。			支援することは、子どものスポーツ振興を図るうえでも重要であり、少子化が進む中で加盟者数が現状維持できているのは、支援の成果と言える。			継続		
社会教育課	事業費(千円)	453	453	453							453		

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成25年度の評価			平成25年度の評価					

8-23-003	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	改善する						平成25年度実績	
学校施設(体育館)開放事業	市民の健康維持及び体力向上に資するため、学校の体育館を開放してスポーツ活動の場を提供する。	市内小中学校12校で実施	市内小中学校12校で実施	市内小中学校12校で実施	学校の統合に合わせて、有料化の検討を行う。				スポーツを振興するうえで、平日、身近な地域でのスポーツ練習場所の確保は重要。					市内小中学校13校(西部中試行)で実施
					評価指標			利用団体数、利用者数						
					平成25年度の評価			A					A	
					有料化については、平成26年10月からとする条例案を提出。			前期、後期とも調整を行ったが、すべての団体が利用でき、スポーツ活動の場の提供ができた。						
市計画<293>	継続	継続	継続	継続						継続				
社会教育課	事業費(千円)	4,696	4,778	4,778						4,293				

8-23-003-1	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	改善する						平成25年度実績	
学校施設(体育館)開放事業 [拡大]	利用団体の増加に伴い、利用日・時間が不足しているため、開放対象施設に西部中学校を追加する。	西部中学校開放	西部中学校開放	西部中学校開放	学校の統合に合わせて、有料化の検討を行う。				スポーツを振興するうえで、平日、身近な地域でのスポーツ練習場所の確保は重要。					
					評価指標			利用団体数、利用者数						
					平成25年度の評価			平成25年度の評価						
市計画<367>	拡大	拡大	継続	継続										
社会教育課	事業費(千円)	197	191	191										

8-23-004	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	創る	拓げる	改善する						平成25年度実績	
運動広場整備事業	市民のスポーツ・レクリエーションや集い・交流・健康づくりの場として運動広場を整備する。	整備に向けた調査・検討	整備に向けた調査・検討	整備に向けた調査・検討	総合運動公園計画の基盤整備の事業として計画。整備に向け、課題の整理を行う。				スポーツを振興するうえで、スポーツ施設環境の充実が必要。					該当なし
					評価指標			進捗率						
					平成25年度の評価			-					-	
市計画<322>	継続	見直し	継続	継続						見直し				
社会教育課	事業費(千円)	0	0	0						0				

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成25年度の評価			平成25年度の評価					

8-23-101	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	整える	改善する					平成25年度実績
体育施設管理 事業 (体育施設管理 経費)	総合体育館、緑葉公園体育施設、住民プール、地区体育館、自然の森キャンプ場の管理を行う。	指定管理者による施設の維持管理 施設修繕 経常96,613千円 臨時9,857千円	指定管理者による施設の維持管理	指定管理者による施設の維持管理	老朽化している施設が多いことから、点検を怠らない。計画的な修繕を実施していく。							指定管理者による施設の維持管理 施設修繕
					評価指標 施設利用者数、苦情件数							
					平成25年度の評価	A		平成25年度の評価			A	
経常経費	継続	継続	継続	継続	適正な管理が実施できた。突発的な修繕については、迅速に対応した。			指定管理者による効率的な施設運営に努めた。			継続	
社会教育課	事業費(千円)	106,470	91,573	91,573							91,570	

【政策1～8を支える経常経費】

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画			期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績	
					懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策		
					平成25年度の評価			平成25年度の評価						
9-00-101 教育委員に関する経費 (教育委員会 運営経費)	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づき設置 教育委員の報酬など 教育委員会会議の開催経費 教育長交際費 全道都市教委連総会負担金	平成26年度 教育委員会会議 20回開催 全道都市教委連総会 (富良野市)	平成27年度 教育委員会会議 20回開催 全道都市総会	平成28年度 教育委員会会議 20回開催 全道都市総会	めざす	続ける	点検する							平成25年度実績 教育委員会会議 16回開催 全道都市教委連総会 (富良野市) 市内小中学校との 懇談等研修
経常経費	継続	継続	継続	継続	評価指標	開催回数								継続
教育総務課	事業費(千円)	3,121	3,107	3,107	平成25年度の評価	A	平成25年度の評価	A	研修を積極的に行うなど、教育施策の推進に向け対応している。					3,107

教育委員会事務局運営経費

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画			期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績	
					懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策		
					平成25年度の評価			平成25年度の評価						
9-00-102 学校業務主事に関する経費 (教育委員会 事務局運営経費)	学校業務主事の任用	平成26年度 学校業務主事 15名任用 人件費・被服費用 危険物保安講習受講 手数料	平成27年度 学校業務主事 15名任用 人件費・被服費用 危険物保安講習受講 手数料	平成28年度 学校業務主事 15名任用 人件費・被服費用 危険物保安講習受講 手数料	めざす	続ける	点検する							平成25年度実績 学校業務主事 18名任用 人件費・被服費用 危険物保安講習受 講手数料
経常経費	継続	継続	継続	継続	評価指標									継続
教育総務課	事業費(千円)	33,733	34,050	34,550	平成25年度の評価	A	平成25年度の評価	A	児童生徒の安全確保、学校環境の保全に努めた。また、軽微な修繕、教材の作製などは学校経費節減と なっている。					41,466

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成25年度の評価			平成25年度の評価					

9-00-103 教育委員会事務局運営経費 (教育委員会事務局運営経費)	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績	
	教育長ほか職員旅費、被服費・事務経費、石狩教育研修センター組合分担金、その他分担金・負担金	教育長ほか職員旅費、被服費・事務経費、石狩教育研修センター組合分担金、その他分担金・負担金	教育長ほか職員旅費、被服費・事務経費、石狩教育研修センター組合分担金、その他分担金・負担金	教育長ほか職員旅費、被服費・事務経費、石狩教育研修センター組合分担金、その他分担金・負担金	市の教育施策を継続し、着実に進める。				教育委員会事務局を円滑に運営する。					教育長ほか職員旅費、被服費・事務経費、石狩教育研修センター組合分担金、その他分担金・負担金
					評価指標									
					平成25年度の評価		A	平成25年度の評価			A			
					教育施策を着実に推進している。					教育委員会の運営を円滑に推進している。				
経常経費	継続	継続	継続	継続								継続		
教育総務課	事業費(千円)	5,576	5,314	5,510								5,445		

9-00-104 教職員永年勤続表彰 (教育委員会事務局運営経費)	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績	
	北海道教育功績者表彰規則により永年勤続表彰を受けた市内の小中学校教職員に対して伝達を行う。	伝達式(教職員永年勤続表彰)の実施	伝達式(教職員永年勤続表彰)の実施	伝達式(教職員永年勤続表彰)の実施	北海道教育委員会に代わり、永年勤務した教職員に対して、業績を称える式典を実施。				永年勤務した教職員に対して、その業績を称え、今後の活躍を期待する。					伝達式(教職員永年勤続表彰者7名)を12月に実施
					評価指標 表彰者数									
					平成25年度の評価		A	平成25年度の評価			A			
					永年勤続表彰伝達式を実施。					永年勤務した教職員に対して、道教委からの賞状を伝達し、これまでの業績を称えとともに、今後のさらなる活躍を期待する伝達式を実施。				
経常経費	継続	継続	継続	継続								継続		
学校教育課	事業費(千円)	3	3	3								3		

教育振興経費

9-00-105 「きたひろしまの教育」作成 (教育振興経費)	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績	
	教育全般の状況を記した「きたひろしまの教育」を編集・製本・発行する。	発行に係る用紙代・製本代・郵送代	発行に係る用紙代・製本代・郵送代	発行に係る用紙代・製本代・郵送代	市の教育理念の達成と、教育基本計画推進のため、毎年のデータを蓄積する。				本誌に掲載するデータが教育の各分野で利用されるよう、教育活動全般にわたる視点をもって編集・発行する。					300冊6月発行に係る用紙代・製本代
					評価指標									
					平成25年度の評価		A	平成25年度の評価			A			
					各種データを更新し、学校総合事業の内容を掲載して作成した。					本市の教育に係る広範な情報を掲載し、各分野で活用された。				
経常経費	継続	継続	継続	継続								継続		
教育総務課	事業費(千円)	79	79	79								75		

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画			期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
					懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
					平成25年度の評価			平成25年度の評価					

9-00-106	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	創る	続ける	点検する						平成25年度実績
北広島市教育 施策審議会 (教育振興経 費)	学識者2名、学校関係者2 名、社会教育関係者2名、 公募1名で構成し、教育施 策に関する審議及び教育委 員会の事務事業に関する点 検評価を行う。 平成23年11月設置	年間6回会議を開催	年間7回会議を開催 改選年	年間6回会議を開催	教育基本計画を着実に推進す るため、教育委員会の事務 事業を客観的に点検する。			教育委員会の事務事業に 関する点検評価は、教育基 本計画の進行管理と見直し、 及び教育政策の着実な推 進に必要であり、教育活動 全般にわたる視点が必要 である。					7回審議会を開催 点検評価報告書へ の意見 教育推進計画 (H25~27) (H26~28)の検 討 委員の改選を実施
					評価指標 会議開催回数								
					平成25年度の評価 A			平成25年度の評価 A					
					平成24年度点検評価に対する意見等を得 た。(平成25~27年度)の答申を得 た。教育推進計画(平成26~28年度) の策定を諮問し、答申を得た。			24年度点検評価及び教育推進計画(平成25~27年 度)(平成26~28)に関する審議を中心に活動し た。					継続
経常経費	継続	継続	継続	継続								継続	
教育総務課	事業費(千円)	303	354	308								316	

9-00-107	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績
第一地区教科 用図書採択教 育委員会協議 会負担金 (教育振興経 費)	小中学校で使用する教科用 図書を採択するため、第一 地区教科用図書採択教育委 員会協議会へ参加する。	第一地区教科用図書 採択教育委員会協議 会への参加 臨時分(採択調査負 担金) H27年度より使用 する小学校用図書採 択	第一地区教科用図書 採択教育委員会協議 会への参加 臨時分(採択調査負 担金) H28年度より使用 する中学校用図書採 択	第一地区教科用図書 採択教育委員会協議 会への参加	第一地区教科用図書採択教育委 員会協議会を通して教科書用 図書を選定する必要がある。			小中学校で使用する教科用図 書を採択するには、 第一地区教科用図書採択教育 委員会協議会へ参加する 必要がある。					7月開催の協議会 へ参加
					評価指標 協議会への参加状況								
					平成25年度の評価 A			平成25年度の評価 A					
					今年度は教科書改訂の年度でな いことから負担金が生じなかつ た。			特別支援学級に使用する一般図 書の選定のための協 議会が開催され、参加した。					継続
経常経費	継続	継続	継続	継続								継続	
学校教育課	事業費(千円)	129	129	0								0	

教員住宅管理経費

9-00-108	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績
教員住宅管理 (教員住宅管 理経費)	校長・教頭管理者住宅、教 員住宅に関する経費	校長・教頭管理者住 宅電話料 教員住宅修繕料	校長・教頭管理者住 宅電話料 教員住宅修繕料	校長・教頭管理者住 宅電話料 教員住宅修繕料	市の教育施策を継続し、着実 に進める。			校長、教頭に対し、学校の管 理を迅速に行うた め、市内に住宅を提供する。 また、一般教職員等に対 し住宅を提供する。					校長・教頭管理者 住宅電話料 教員住宅修繕料 大曲東小管理者住 宅借上
					評価指標 入居状況								
					平成25年度の評価 A			平成25年度の評価 A					
					管理者住宅、教員住宅の維 持管理、修繕を行ってい る。			老化に伴う修繕、安全の確保 に努めている。					継続
経常経費	継続	継続	継続	継続								継続	
教育総務課	事業費(千円)	2,935	2,935	2,935								14,000	

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成25年度の評価			平成25年度の評価					

小学校管理経費

9-00-109	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績	
小学校運営経費 (小学校管理経費)	事務補助員の任用 業務主事の旅費 運営用消耗品 印刷製本費 通信費	小学校運営経費	小学校運営経費	小学校運営経費	学校教育環境の管理、維持のため経費の節減をしながら、効果的に支出する。				学習環境の充実のため、学校運営にかかる補助員の配置、印刷経費等ランニングコストについては節減喚起、各学校に取り組んでもらう。					小学校運営経費
					評価指標									
					平成25年度の評価			A		平成25年度の評価			A	
					経費の節減に努めるよう、各校に到達し、効果を上げている。					学校の円滑な運営に努めながらも、経費の節減を図っている。				
経常経費	継続	継続	継続	継続						継続				
教育総務課	事業費(千円)	23,038	26,273	26,760						24,360				

9-00-110	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績	
小学校管理経費 (学校教育課関係分) (小学校管理経費)	全学校共通で使用する印刷物の作成及び入学通知書の郵便料 H25から水質検査は学校管理費で実施	指導要録、学籍簿、封筒の作成、入学通知書の送付	指導要録、学籍簿、封筒の作成、入学通知書の送付	指導要録、学籍簿、封筒の作成、入学通知書の送付	指導要録等、全学校で共通して使用する印刷物の在庫管理及び法令に基づく水質検査の実施。				共通して使用する印刷物を一括発注することによる経費削減を図るまた、適切な水質検査による安全管理が必要である。					指導要録、学籍簿、封筒の作成、入学通知書の送付
					評価指標					印刷物の発注及び水質検査実施状況				
					平成25年度の評価			A		平成25年度の評価			A	
					指導要録等の全学校で共通して使用する印刷物の作成した。					共通して使用する印刷物を一括発注することによる経費削減を図った。				
経常経費	継続	継続	継続	継続						継続				
学校教育課	事業費(千円)	61	61	61						40				

中学校管理経費

9-00-111	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績	
中学校運営経費 (中学校管理経費)	事務補助員の任用 業務主事の旅費 運営用消耗品 印刷製本費 通信費	中学校運営経費	中学校運営経費	中学校運営経費	学校教育環境の管理、維持のため経費の節減をしながら、効果的に支出する。				学習環境の充実のため、学校運営にかかる補助員の配置、印刷経費等ランニングコストについては節減喚起、各学校に取り組んでもらう。					中学校運営経費
					評価指標									
					平成25年度の評価			A		平成25年度の評価			A	
					経費の節減に努めるよう、各校に到達し、効果を上げている。					学校の円滑な運営に努めながらも、経費の節減を図っている。				
経常経費	継続	継続	継続	継続						継続				
教育総務課	事業費(千円)	17,032	19,363	19,722						17,996				

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画	期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
			懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
			平成25年度の評価			平成25年度の評価					

9-00-112	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する					平成25年度実績
中学校管理経費 (学校教育課関係分) (中学校管理経費)	全学校共通で使用する印刷物の作成及び入学通知書の郵便料 H25から水質検査は学校管理費で実施	指導要録、学籍簿、封筒の作成、入学通知書の送付	指導要録、学籍簿、封筒の作成、入学通知書の送付	指導要録、学籍簿、封筒の作成、入学通知書の送付	指導要録等、全学校で共通して使用する印刷物の在庫管理							指導要録、学籍簿、封筒の作成、入学通知書の送付
					評価指標 印刷物の発注及び水質検査実施状況							
					平成25年度の評価		A			平成25年度の評価		A
					指導要録等の全学校で共通して使用する印刷物の作成した。							
					共通して使用する印刷物を一括発注することによる経費削減を図る必要である。							
経常経費	継続	継続	継続	継続	共通して使用する印刷物を一括発注することによる経費削減を図った。							継続
学校教育課	事業費(千円)	65	65	65								40

社会教育経費

9-00-113	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する					平成25年度実績
社会教育事務経費 (社会教育経費)	社会教育関係団体登録事務 その他事務経費 生涯学習協会負担金 他	社会教育関係団体登録事務 その他事務経費 生涯学習協会負担金 他	社会教育関係団体登録事務 その他事務経費 生涯学習協会負担金 他	社会教育関係団体登録事務 その他事務経費 生涯学習協会負担金 他	社会教育関係団体登録等に係る事務手続きを円滑に進める。							社会教育関係団体登録事務 その他事務経費 生涯学習協会負担金 他
					社会教育事業の実施のための事務手続き等を円滑に進める。							
					適切な事務処理に努めた。							
					状況に応じて適切に事務手続きを進めた。							
経常経費	継続	継続	継続	継続	状況に応じて適切に事務手続きを進めた。							継続
社会教育課	事業費(千円)	167	126	126								152

9-00-114	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する					平成25年度実績
社会教育委員 (社会教育経費)	社会教育法に基づき委嘱 生涯学習に関する諸計画の 立案・助言を行う 全道管内協議会への参加 他	社会教育委員11名の報酬 道社連協研修大会 他	社会教育委員11名の報酬 道社連協研修大会 他	社会教育委員11名の報酬 道社連協研修大会 他	平成23年度より新たな2カ年の任期の開始により、テーマを設け協議を進める。							社会教育委員11名の報酬 道社連協研修大会 根室開催
					市民と行政を結び役割を担っている社会教育委員から、社会教育に関する提言等をいただき、具体的施策に反映していく。							
					協議開催数、大会参加者数							
					平成25年度の評価		A			平成25年度の評価		A
					具体的な協議内容を提示し、活発な議論が進められるよう努めた。							
					研修会への派遣や会議運営に工夫をし、会議において活発な議論がなされるよう進め、適切に意見が反映されるよう進めることが必要である。							
経常経費	継続	継続	継続	継続	研修会への派遣や会議運営に工夫をし、会議において活発な議論がなされるよう進め、適切に意見が反映されるよう進めることが必要である。							継続
社会教育課	事業費(千円)	573	572	572								357

事業名 (担当課)	事業内容	年度計画			期待されるアクション			特に必要とする視点					平成25年度実績
					懐く	励む	挑む	生涯学習 環境整備	社会貢献 人材育成	産学官民 の連携	地域の 教育力	総合的な 教育施策	
					平成25年度の評価			平成25年度の評価					

9-00-115	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績	
社会教育主事 (社会教育経費)	社会教育主事の研修等費用	普通旅費	普通旅費	普通旅費	社会教育に関する専門職員として研修の機会を確保する。									管内社会教育主事等研究協議会出席
経常経費	継続	継続	継続	継続	評価指標 研修会参加回数									
社会教育課	事業費(千円)	18	18	18	平成25年度の評価	A	平成25年度の評価	A	専門職員として、研修機会に参加し、社会教育の推進に努めていく必要がある。					継続
					研修の成果や先進の取組みの状況などの情報を活用し、社会教育に関する計画策定や施策の充実に努める必要がある。							1		

保健体育事務経費

9-00-116	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績	
スポーツ推進審議会 (保健体育事務経費)	スポーツの振興に関する事項について調査・審議し教育委員会に建議する	審議会委員5名報酬費用弁償	審議会委員5名報酬費用弁償	審議会委員5名報酬費用弁償	本市のスポーツ振興に係る方策等について意見を求める。									審議会2回開催
経常経費	継続	継続	継続	継続	評価指標 会議開催数									
社会教育課	事業費(千円)	128	128	128	平成25年度の評価	A	平成25年度の評価	A	スポーツ賞受賞候補者の諮問を行い答申を得た。					継続
					答申のとおり受賞者の決定となった。							51		

9-00-117	事業内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	めざす	続ける	点検する						平成25年度実績	
保健体育事務経費 (保健体育事務経費)	借上車経費 その他事務費	借上車経費 その他事務費	借上車経費 その他事務費	借上車経費 その他事務費	スポーツ関連事業の運営に欠かせない経費。借上車の更新も必要。									借上車経費 その他事務費
経常経費	継続	継続	継続	継続	評価指標									
社会教育課	事業費(千円)	589	596	605	平成25年度の評価	A	平成25年度の評価	A	予定どおり事業を実施することができた。					継続
					ワゴン車の更新を行い、事業を実施するうえで、最適な環境を整備できた。							584		

北広島市教育基本計画(2011-2020)
推進計画《平成 26 ~ 28 年度》

【担当】教育部教育施策推進課

☎ 0 1 1 - 3 7 2 - 3 3 1 1

[表紙写真]

史跡旧島松駅通所の池に咲く「ハス」
北広島フォトクラブ 松田 光浩 氏 撮影（2008年8月）

[解 説]

駅通所の「ハス」は、中山久蔵が道南の大野町（現在の北斗市）から、水稻「赤毛」の種もみとともにレンコン（蓮根）を食用にと持ち込み、明治6年（1873年）に久蔵宅の池（通称ハス池）で栽培を始めたことに由来する。

「ハス」は越冬が難しく、寒冷地に生息するのは珍しい。
久蔵が栽培したハスも一時的に姿を消したが、平成3年（1991年）にハス根を再び移植し、復元された。例年、8月上旬から咲き始め、鮮やかなピンク色の花が訪れる人の心を和ませている。